

富良野美瑛地域自転車活用推進計画

令和 4 年 2 月

**美 瑛 町
上 富 良 野 町
中 富 良 野 町
富 良 野 市
南 富 良 野 町
占 冠 村**

目 次

1.	はじめに	1
1-1	背景と目的	1
1-2	計画区域	2
1-3	計画期間	2
1-4	計画の位置付け	3
2.	富良野美瑛地域の現状と課題	10
2-1	地域の概況	10
2-2	自転車交通関連状況	23
2-3	課題整理	41
3.	富良野美瑛地域の目指すべき姿	42
4.	計画の基本方針	43
4-1	計画目標	43
4-2	施策と取り組み	45
5.	自転車活用推進に向けた具体的施策	46
5-1	自転車利用空間の計画的な整備推進	46
5-2	サイクルスポーツ振興の推進	50
5-3	自転車を活用した健康づくりの推進	51
5-4	自転車通勤等の促進	51
5-5	世界に誇るサイクリング環境の創出	53
5-6	自転車の安全利用の促進	56
5-7	学校等における交通安全教育の推進	57
5-8	保険などの加入義務を推進させる取り組みの推進	58
6.	計画推進	60
6-1	計画の推進体制	60
6-2	計画のフォローアップと見直し	60
6-3	計画の達成度評価	61

1. はじめに

1-1 背景と目的

自転車の活用については、平成 29 年度に「自転車活用推進法」が施行され、これに基づき平成 30 年度に国は「自転車活用推進計画」を策定しました。これを受け、北海道でも平成 30 年度に「北海道自転車条例」が施行され、同年「北海道自転車利活用推進計画」が策定されています。

近年、自転車はエコな交通手段、運動効果の高い交通手段、災害に強い交通手段としての認識が高まっています。また、新型コロナウイルスの影響による新生活様式において自転車での移動が見直されつつあり、全国的に活用推進の動きが見られています。また、国はナショナルサイクルルート制度を設立し、インバウンド旅行客がモノ消費から体験型のコト消費に移行していることも追い風となり、サイクルツーリズムの機運が高まっています。

富良野美瑛広域圏においても、「富良野美瑛サイクリングルート」の取り組みが進められており、サイクリング需要が増えるなか、地域住民の移動の安全性を守るためにも自転車が安全に走行できる環境や、サイクリストの受入環境の充実が求められています。更に地域内観光の二次交通手段として活用することで観光ピーク時の渋滞緩和や CO2 排出量の削減効果が期待できます。

富良野美瑛広域圏では、自転車活用による計画的な施策展開を行うことを目的に「富良野美瑛地域自転車活用推進計画」を策定しました。計画に示した取り組みを着実に実行に移すことで、サイクルツーリズムの推進や、自転車走行環境の整備、安全利用の推進、健康増進など総合的な自転車活用を推進することで、地域活性化や SDGs への貢献、QOL の向上等を図ります。

1-2 計画区域

本計画の対象区域は美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村の6市町村とします。

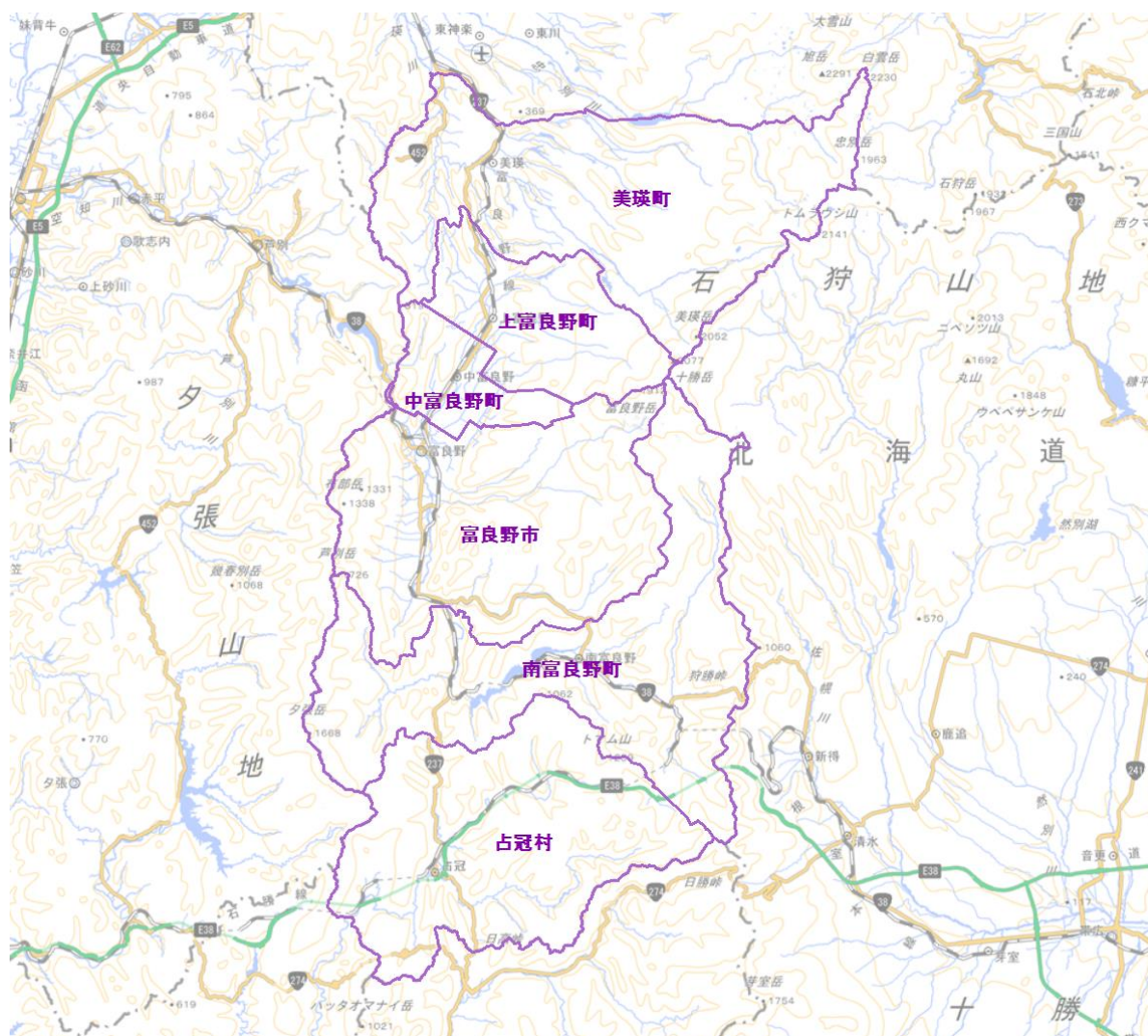


図 1 計画区域

資料：国土地理院地理院地図を基に作成

1-3 計画期間

計画期間は令和4年度からの5年間とし、計画目標年次を令和8年度に設定します。計画の内容は、関連法令の改定や社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行います。

1-4 計画の位置付け

「富良野美瑛地域自転車活用推進計画」は、対象市町村の自転車施策に関する上位計画となるものであり、各市町村の上位・関連計画との連携・整合を図ります。

また、本計画は国の「自転車活用推進計画」や北海道の「北海道自転車利活用推進計画」と内容の整合を図ります。

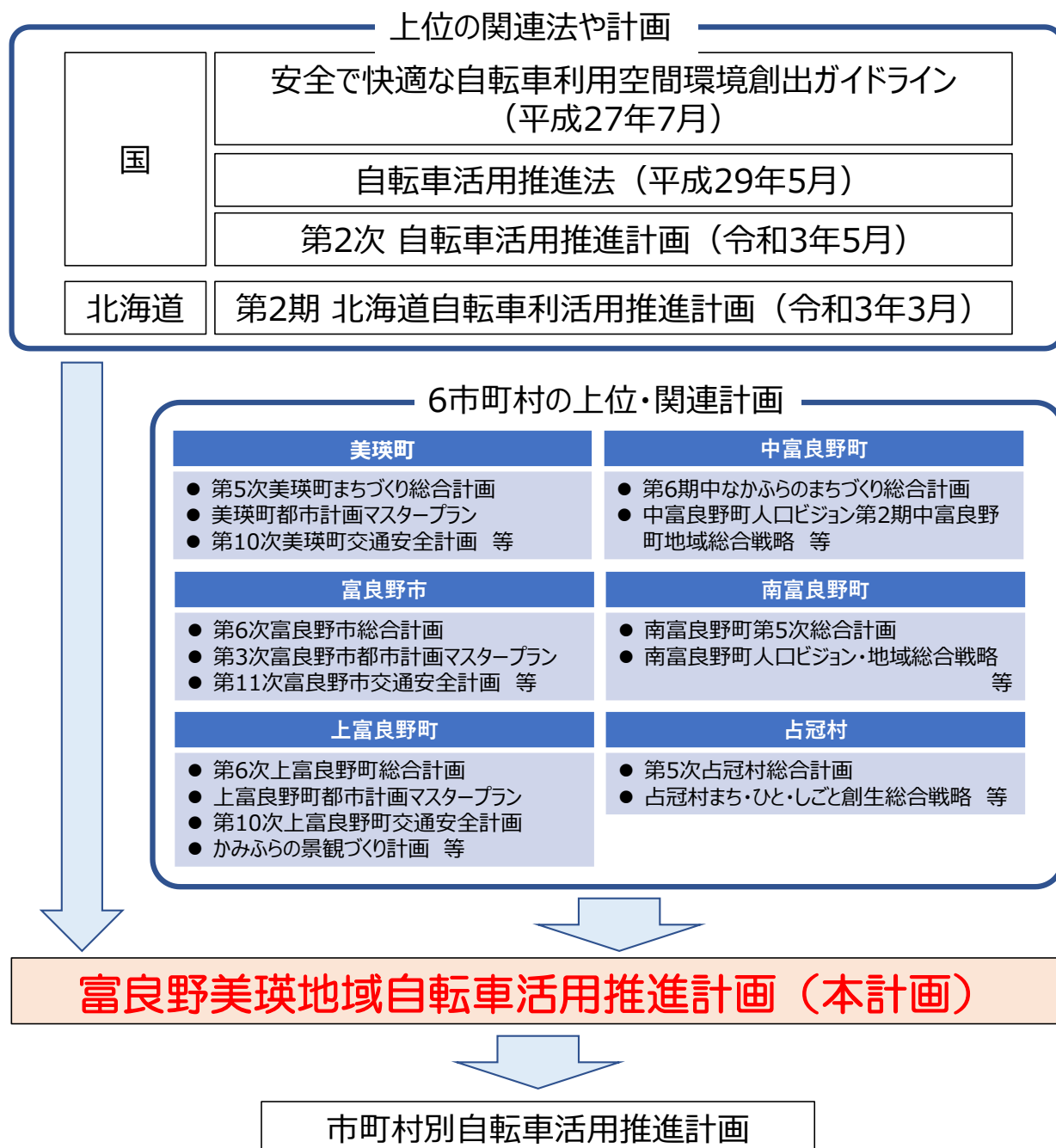


図 2 本計画の位置づけ

(1) 国及び北海道の動向

国は、誰もが利用でき、環境に優しく、健康増進に寄与する自転車の利用を促進するため、自転車の活用の推進に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにするとともに、自転車の活用を総合的・計画的に推進するための「自転車活用推進法」を、平成 29 年 5 月に施行しました。

また、平成 30 年 6 月には「自転車活用推進計画」を、令和 3 年 5 月には「第 2 次自転車活用推進計画」を策定し、法の基本理念や自転車を巡る現状の課題等を踏まえながら、自転車の活用推進に取り組んでいます。

表 1 第 2 次自転車活用推進計画の概要

区分	概 要
計画期間	令和 3 年度～令和 7 年度
目標 および 施策	目標 1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成 ① 自転車活用推進計画の策定及び計画に基づく施策の着実な実施を促進 ② 安全で快適な自転車通行空間の計画的な整備を推進 ③ 自転車通行空間の確保を促進 ④ シェアサイクルの普及を促進 ⑤ 地域の駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備推進 ⑥ 自転車の I o T 化の推進 ⑦ 生活道路での通過交通の抑制や無電柱化と合わせた自転車通行空間の整備 目標 2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現 ① 国際規格に合致した自転車競技施設の整備促進 ② 公道や公園等の活用による安全に自転車に乗れる環境の創出 ③ 自転車を利用した健康づくりに関する広報啓発の推進 ④ 自転車通勤の促進 目標 3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現 ① 国際会議や国際的なサイクリング大会等の誘致 ② 走行環境整備や受入環境整備等による世界に誇るサイクリング環境の創出 目標 4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現 ① 高い安全性を備えた自転車の普及促進 ② 多様な者が安全かつ快適に利用できる自転車の開発及び普及促進 ③ 自転車の点検整備を促進するための広報啓発等の促進 ④ 交通安全意識の向上に資する広報啓発活動や指導・取締りの重点的な実施 ⑤ 学校における交通安全教室の開催等の推進 ⑥ 自転車活用推進計画の策定及び計画に基づく施策の着実な実施を促進（再掲） ⑦ 安全で快適な自転車通行空間の計画的な整備を推進（再掲） ⑧ 災害時における自転車の活用の推進 ⑨ 自転車損害賠償責任保険等への加入を促進

北海道は、平成 30 年 4 月に北海道自転車条例を施行し、自転車の活用及び安全な利用の推進に関する施策の総合的な推進を図っています。条例が掲げる理念の実現に向け、平成 31 年 3 月に北海道自転車利活用推進計画を策定し、令和 3 年 3 月には「第 2 期 北海道自転車利活用推進計画」を策定しました。

北海道自転車利活用推進計画では、条例の普及啓発や交通安全教室の実施をはじめ、海外からのサイクリスト誘客に向けたプロモーションの展開、自転車の利用促進のためのイベントの実施、自転車と自動車がお互いを思いやる道路環境づくりに向けたキャンペーンの実施など、条例の趣旨に基づき、様々な取り組みが記載されています。

表 2 第 2 期 北海道自転車利活用推進計画の概要

区分	概 要
計画期間	令和 3 年 3 月から令和 7 年度まで
北海道のめざす姿	誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できる 環境に◎観光に◎健康に◎もっと、自転車北海道
3つの視点と展開方向	視 点：もっと、自転車を知る・使う 展開方向：自転車の魅力を生かした多様なサイクルスタイルの実現 施 策：①自転車利用促進に関する普及啓発・活用の推進 ②自転車利用環境の整備の推進 視 点：もっと、自転車を安全・安心に 展開方向：自転車を安全で安心に利用することのできる環境の構築 施 策：①交通安全教育のさらなる推進 ②自転車損害賠償保険等への加入促進の強化 ③災害時における自転車の活用 ④自転車利用環境の整備の推進（再掲） 視 点：もっと、自転車を楽しく・快適に 展開方向：北海道の特性を生かしたサイクルツーリズムの推進 施 策：①国内外のサイクリストの誘客 ②北海道の特性を活かしたサイクリング環境の創出 ③自転車利用環境の整備推進（再掲）

(2) 対象 6 市町村の上位・関連計画

自転車活用推進に向けた各種整備は 6 市町村のまちづくり方向性と整合を図る必要があります。上位・関連計画との整合を図るため、主に自転車に関する記載を既往計画から整理しました。

① 美瑛町

計画名	記載内容
美瑛町都市計画マスタープラン	全体構想 ● 地域資源の多様性・持続性を確保できるよう観光ルート等の検討や環境整備を進めるとともに、豊かな自然環境を活用したサイクルツーリズムを推進します。 ● 利用者の安全性や利便性の向上のため、道路の路肩拡幅及び駐車施設等の安全対策を強化するとともに、サインの多言語化や自転車通行路のゾーニング化等を推進します。 地域別構想（丘陵地域） ● 既存観光ルートを地域資源の多様性や持続性の観点から再検証した上で、景観スポットやサイクリングルート等も踏まえながら新たな観光ルートや形態を検討し、必要となる環境の整備に努めます。 ● 観光の安全性と利便性の向上を図るため、サインの多言語化や自転車通行路のゾーニング化を推進します。 地域別構想（山岳地域） ● 温泉街や青い池を含む白金エリアについては、関係機関との連携によりサイクリングやトレッキング等のアクティビティが可能となる施設整備を促進し、観光客の滞在時間延長による活性化を図ります。 ● 道道十勝岳温泉美瑛線については、歩行者や自転車等の安全確保のほか、混雑時等の緊急車両の通行を想定し、路肩拡幅等によって災害に強い道路づくりを推進します。
第 10 次交通安全計画	交通安全思想の普及徹底 ● 「道路の安全な歩行と横断」「自転車の安全な利用と点検・整備」「危険の予測と回避」「交通ルールの意味と必要性」等について重点的に指導する。 ● 運転者については、地域や職場における各種講習会を開催するほか、民間交通安全団体と連携して、運転者としての社会的責任の自覚、歩行者や自転車利用者の保護、シートベルト及びチャイルドシート着用の徹底など自発的な安全行動を促すことにより、運転者としての自覚を高める。

計画名	記載内容
第10次交通安全計画	● 自転車は道路を通行する場合は、車両であることのルールを遵守するとともに交通マナーを実践しなければならないことを理解させる。 ● 自転車は歩行者と衝突した場合には加害者となる側面も有していることから、車両運転者としての自覚・責任の啓発を図るとともに、損害賠償責任保険などへの加入を周知する。 道路交通環境の整備 ● 幅員が狭いため歩道が設置できず、歩行者用路側帯標示だけの箇所については、歩行者及び自転車利用者の安全性を確保するために、ガードレール、ガードパイプなどの防護柵の整備を進める。
美瑛町観光マスタープラン 2020	新しい観光ルートのデザイン ● 「パッチワークの路」や「パノラマ・ロード」を地域資源の多様性や持続性の観点から再検証した上で、景観スポットやフットパス等の位置、サイクリング・ルートや後述するバスの周遊ルートなども踏まえながら、新しい観光ルートの設計を行います。

② 上富良野町

計画名	記載内容
上富良野町都市計画マスタープラン	駅周辺（中心市街地）の顔づくり ● レンタサイクル 街路整備 ● ジョギング・サイクリングロード
第10次交通安全計画	● 歩行者及び自転車利用者として、道路を安全に通行するために必要な技能と知識、危険予測と回避する意識及び能力の向上を図る。 ● 交通社会の一員として責任をもって行動することができるよう自転車利用者として必要な技能と知識の習得のため、交通安全教材の提供をはじめ、学校等で行う交通安全活動に対しての援助を行う。 ● 自転車は、道路交通法上では軽車両であることの意識付けを自転車利用者にも図ると共に、夜間における事故防止のため、灯火や反射材による被視認性の確保など、定期的な点検整備の必要性と交通ルールの遵守や交通マナーの実践の啓発に努める。
かみふらの景観づくり計画	自然を身近に感じる演出（観光） ● 脇道・歩道自転車道など、より自然に近づくための整備を行います。

③ 中富良野町

記載なし。

④ 富良野市

計画名	記載内容
第 11 次交通安全計画	自転車の安全利用 ● 自転車利用については、自転車の交通ルールに関する理解が不十分なことも背景として、ルールやマナーに違反する行動が多いことから、交通安全教育等の充実を図ります。 ● 更に、横断歩道においては、歩行者が優先であることを含め、自動車等の運転者における歩行者と自転車に対する保護意識の高揚を図ります。 交通安全施設等の整備事業の推進 (歩行者・自転車対策及び生活道路対策の推進) ● 「ゾーン 30」等の車両速度の抑制、通過交通の抑制等の面的かつ総合的な交通事故対策の検討とともに、歩行空間のバリアフリー化及び通学路における安全・安心な歩行空間の確保を図ります。 自転車利用環境の総合的整備 ● 増加している歩行者と自転車の事故を減らすため、自転車は車両であるとの原則の下、歩道上で歩行者と自転車が通行する部分を指定するなどの自転車走行空間の整備に努めるとともに自転車利用者へのルール、マナーの啓発活動を積極的に推進します。 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進 ● 自転車で安全に道路を通行するために、必要な技能と知識を十分に習得させる。 交通安全に関する普及啓発活動の推進 ● 交通安全運動の重点施策として、自転車の安全利用の推進等、地域の交通情勢に即した効果的な交通安全運動を実施します。 ● 歩行者及び自転車利用者の事故防止に効果が期待できる反射材用品等の普及を図るため、積極的な啓発活動を推進します。 ● 自転車の歩道通行時におけるルールや、スマートフォン等の操作や画面を注視しながらの乗車、イヤホン等を使用した状態での乗車等の危険性等についての周知・徹底を図ります。
フラノビジョン 2030	5.住民生活の質を高める環境づくり →30 公共空間・共同空間の整備・再活用 →河川活用、トレイル・サイクルロードの整備

⑤ 南富良野町

記載なし。

⑥ 占冠村

計画名	記載内容
第5次占冠村総合計画	経済循環が図られる基幹産業の進行（観光） ● 良好な交通・通信アクセスの整備、環境の維持など、住みよい地域づくりに向けて総合的な施策を推進するとともに、占冠ならではの「本物の」地域資源を発掘・育成することによって地域の総合的な魅力を向上させ、独自性と魅力ある観光地づくりに努めます。 ● サイクルツーリズムの推進

2. 富良野美瑛地域の現状と課題

2-1 地域の概況

① 人口推移

6市町村の平成27年の人口は52,889人となっており、人口は減少傾向が続いています。一方、高齢化率は増加傾向にあり、令和27年には約5割が高齢者になると推計されています。

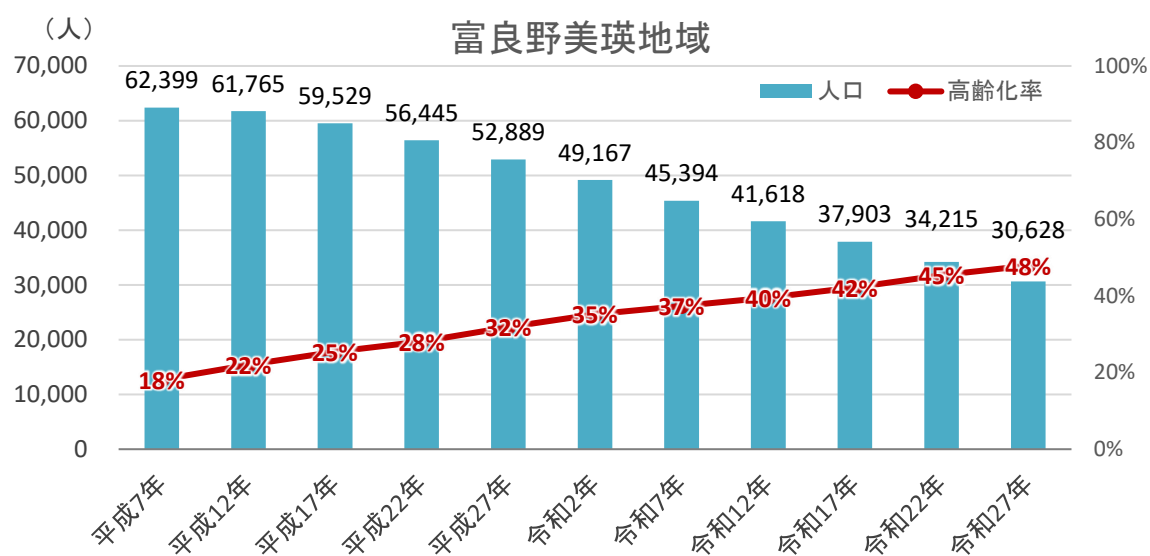


図 3 人口推移

出典：1995～2015年国勢調査、2020～2040年 国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計

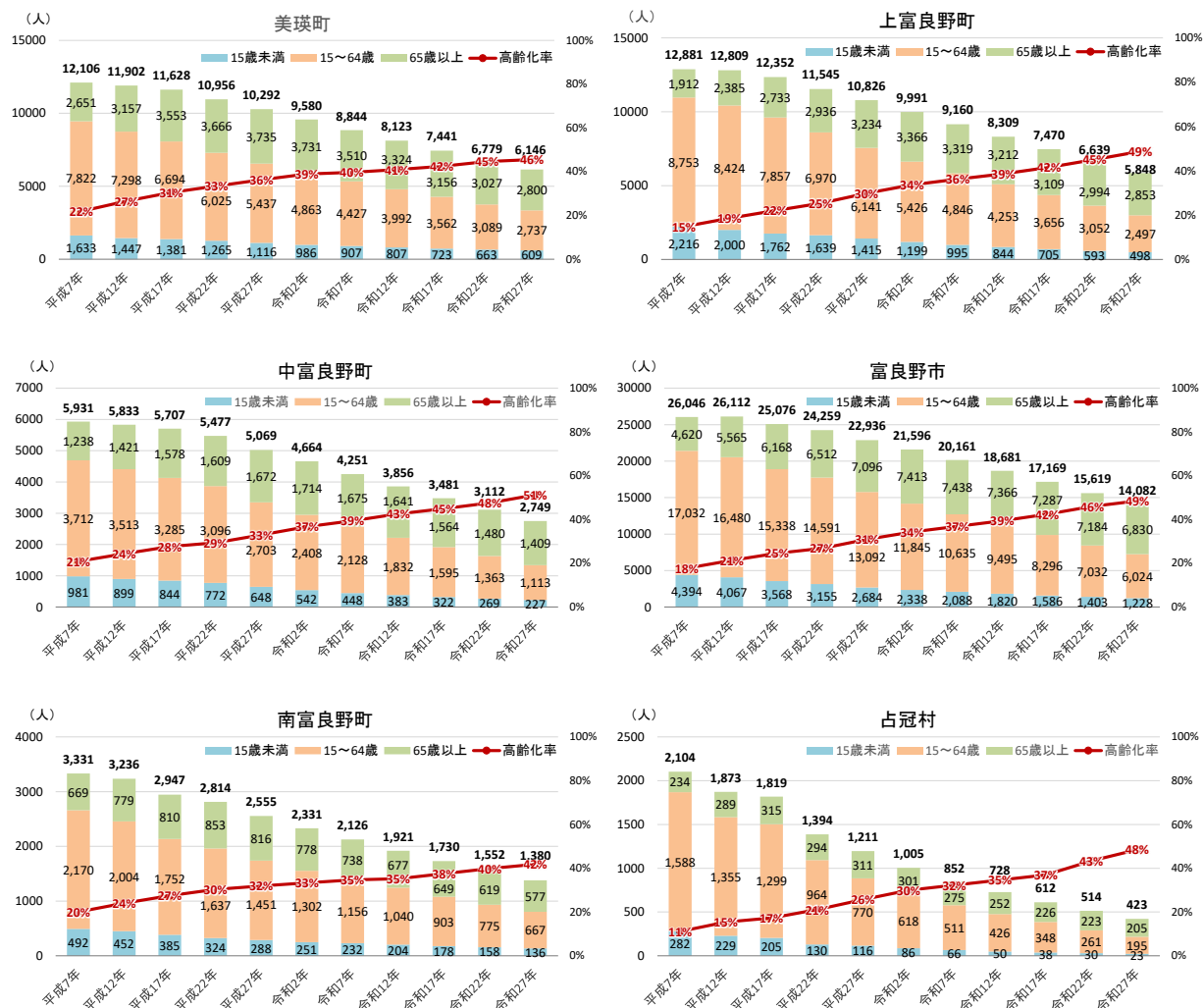


図 4 市町村別の人口及び高齢化率の推移

出典：1995～2015 年国勢調査，2020～2040 年 国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計

② 平均寿命と健康寿命

6市町村の平均寿命は、平成17年から平成27年の10年間で男女ともに伸びています。平成27年の平均寿命は、男性は約80歳、女性は約87歳となっており、北海道平均とほぼ同じ値となっています。

北海道の健康寿命は平成22年から令和元年の約10年間で男女ともに伸びています。男性は全国平均値よりもやや短く約72歳、女性は全国平均値とほぼ同じ約75歳となっています。

健康寿命（北海道）と平均寿命の差は、男性で約8歳、女性で約12歳となっており、今後増加する高齢者のQOLを向上させるためには、健康寿命の延伸が重要です。

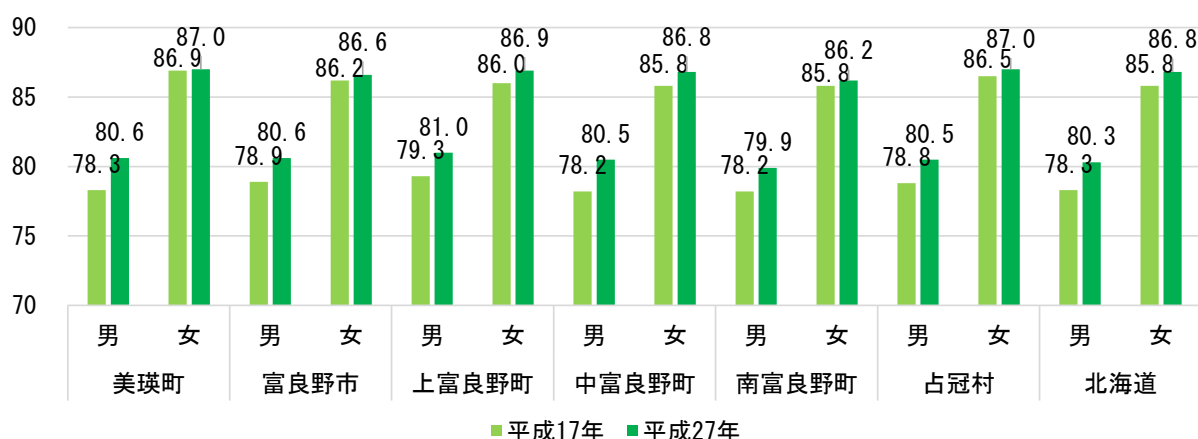


図5 市町村別の平均寿命

出典：厚生労働省 生命表

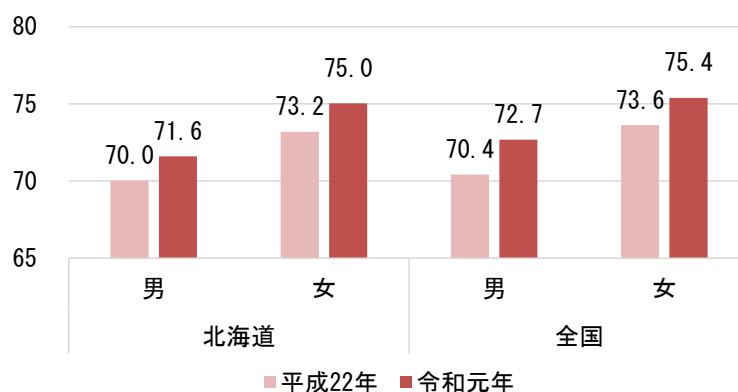


図6 北海道の健康寿命（日常生活に制限のない期間）

出典：令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」分担研究報告書
「健康寿命の算定・評価と延伸可能性の予測に関する研究」

③ 地勢

富良野美瑛地域は、北海道のほぼ中央部に位置し、富良野盆地の周辺を大雪山系や夕張山系に囲まれた、夏と冬の寒暖差が大きい地域です。農業と観光業を基幹産業とし、農業ではジャガイモ、ニンジン、タマネギ、水稻、メロン等が特産品となっています。観光業ではラベンダーや丘陵地の景観が有名で国内外から多くの観光客が訪れます。



図 7 富良野美瑛地域の地勢図

出典：各ホームページ（美瑛町観光協会、R3 年度富良野農業の概要、なかふらの観光協会、南富良野町、占冠村）

④ 道路交通

富良野美瑛地域内には一般国道 38 号、237 号、274 号、452 号が通っており、日交通量は 148 台～14,325 台となっています。一方、道道は日交通量が 391 台～6,589 台と国道と比較して少なくなっています。

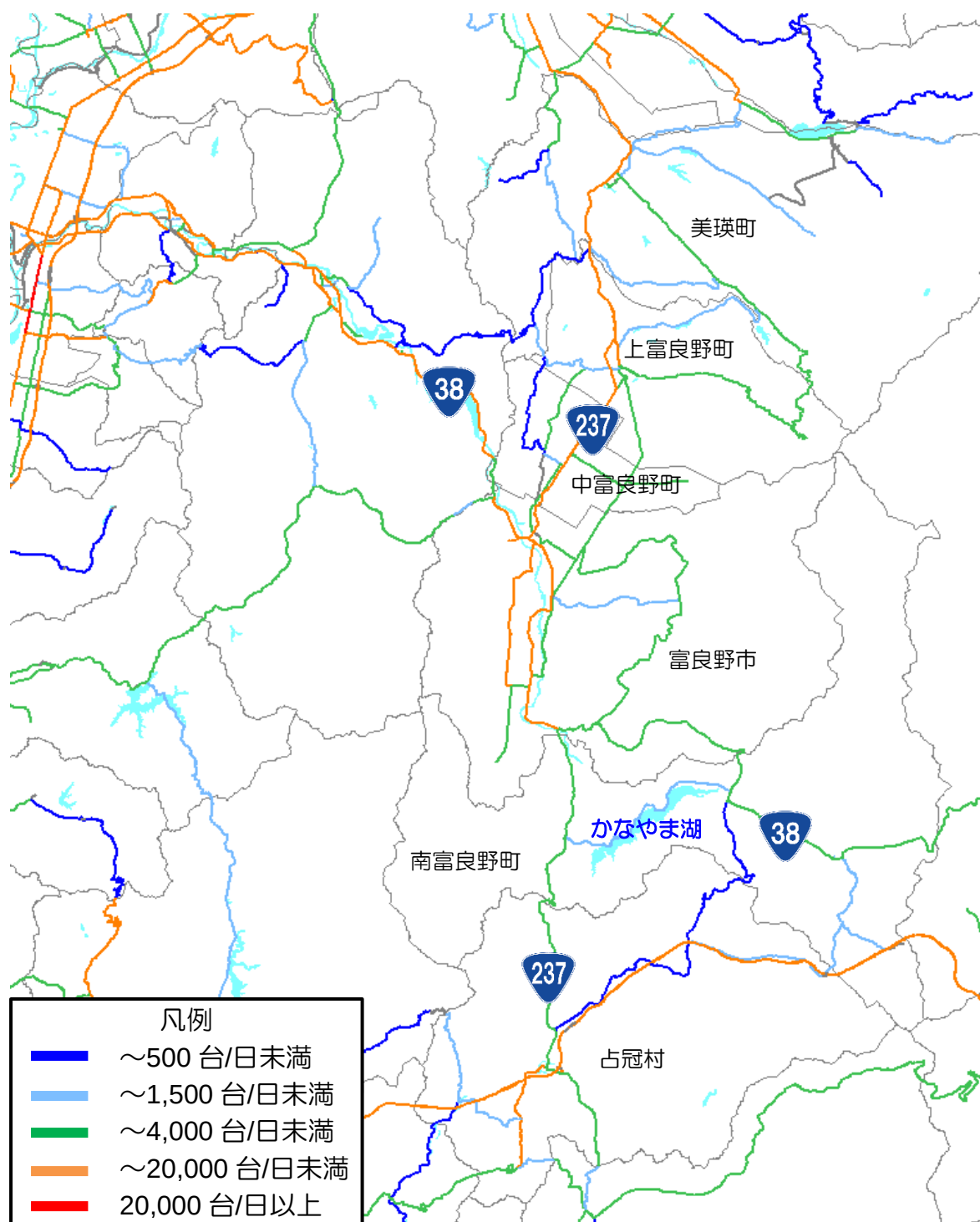


図 8 交通量図

出典：H27 全国道路・街路交通情勢調査

富良野美瑛地域における国道の改良済み区間率及び 5.5m 以上改良済み区間率は、100%となっています。一方、道道は 1 割ほど改良済みとなっていない区間が存在しています。延長割合で改良済み区間率は 92%、5.5m 以上改良済み区間率は 86%となっています。

表 3 道路改良率

	道路延長 (km)	改良済み 区間延長 (km)	5.5m 以上改良 済み区間延長 (km)	改良済率 (%)	5.5m 以上 改良率 (率)
国道	164.8	164.7	164.8	100%	100%
道道	408.7	374.0	352.6	92%	86%

出典：H27 全国道路・街路交通情勢調査

表 4 道道の未改良区間

路 線		区間延長 (km)	区間延長 (%)	
路線番号	路 線 名		改良済み区間率	5.5m 以上改良 済み区間改良率
70	芦別美瑛線	3.9	68.4	68.4
70	芦別美瑛線	5.6	68.4	68.4
136	夕張新得線	8.9	0.0	0.0
136	夕張新得線	6.9	55.1	55.1
136	夕張新得線	3.8	100.0	67.5
136	夕張新得線	3.9	100.0	67.5
291	吹上上富良野線	2.6	100.0	3.8
543	上宇莫別美瑛停車場線	4.3	94.4	94.4
543	上宇莫別美瑛停車場線	11.9	94.4	94.4
544	麓郷山部停車場線	11.1	97.3	97.3
544	麓郷山部停車場線	6.9	52.2	49.3
544	麓郷山部停車場線	0.0	0.0	0.0
580	美馬牛神楽線	9.9	100.0	76.8
610	占冠穂別線	2.5	4.0	4.0
718	忠別清水線	3.9	0.0	0.0
759	奈江富良野線	0.8	87.5	87.5
759	奈江富良野線	0.2	50.0	50.0
966	十勝岳温泉美瑛線	5.3	100.0	9.4
985	山部北の峰線	12.5	100.0	95.2
1030	石勝高原幾寅線	8.8	31.8	31.8
1030	石勝高原幾寅線	8.8	69.3	68.2
1116	富良野上川線	4.9	100.0	6.1
1116	富良野上川線	3.2	100.0	71.9
1116	富良野上川線	1.7	100.0	0.0
1116	富良野上川線	1.2	100.0	0.0

出典：H27 全国道路・街路交通情勢調査

⑤ 公共交通

路線バスはふらのバスが西達布線、麓郷線、御料線、麻町線の4路線を地域内で運行しています。また、旭川市との連絡にはホテルや富良野駅、旭川空港を経由するラベンダー号が運行しています。その他、上富良野町、南富良野町（デマンド方式）、占冠村は、町営・村営バスを運行しています。

都市バスは札幌と富良野を結ぶ高速ふらの号（14 便/日）や帯広と旭川を結ぶ
ノースライナー狩勝峠経由（6 便/日）が運行しています。

鉄道は、地域の中心を南北に JR 富良野線、根室本線、石勝線が走っており、6 市町村を結んでいます。美瑛駅と富良野駅の乗降客数は減少傾向にありますが、上富良野駅の乗降客数は、横ばいとなっています。2021 年時点では根室本線の東鹿越駅～新得駅間が過去の台風被害による影響のため運休となっており、代替バスが運行されています。

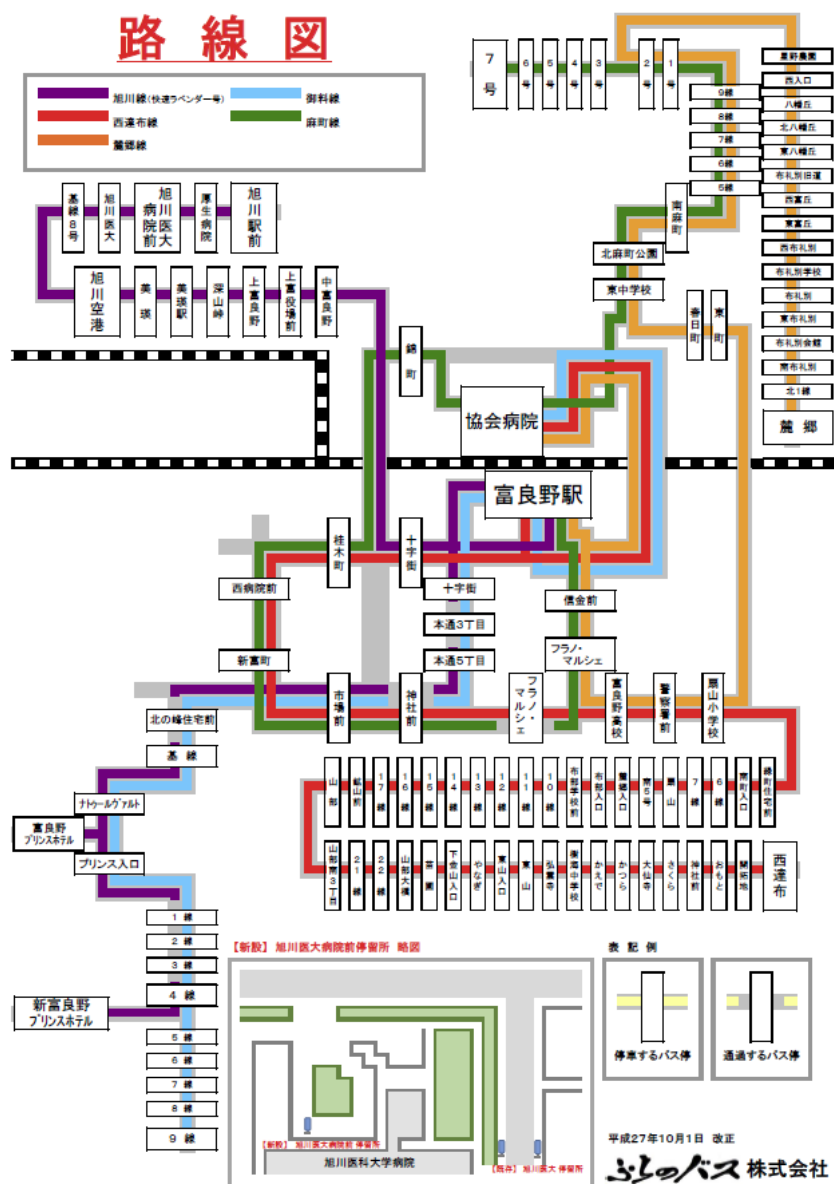


図 9 ふらのバス路線図

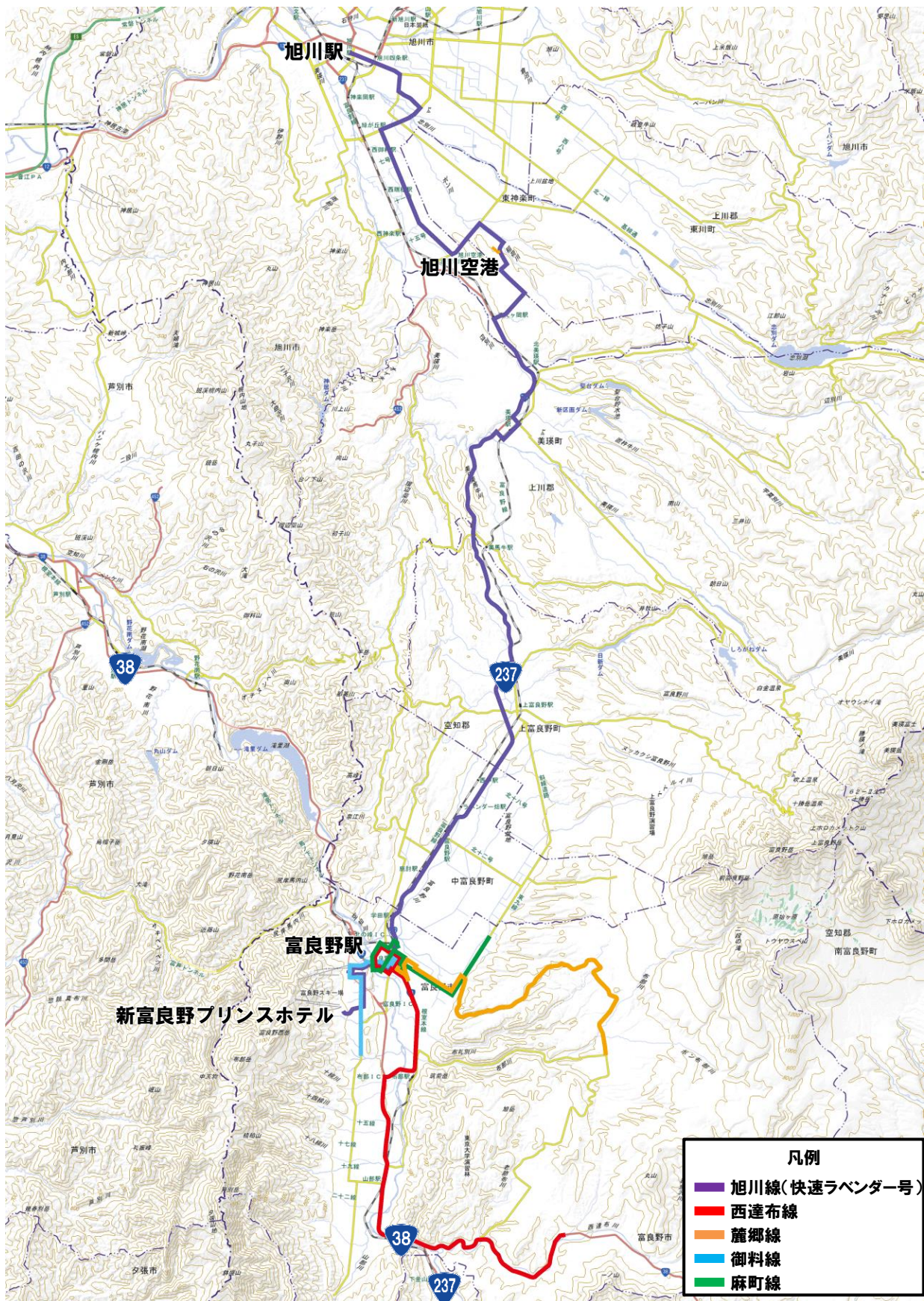


図 10 ふらのバス路線

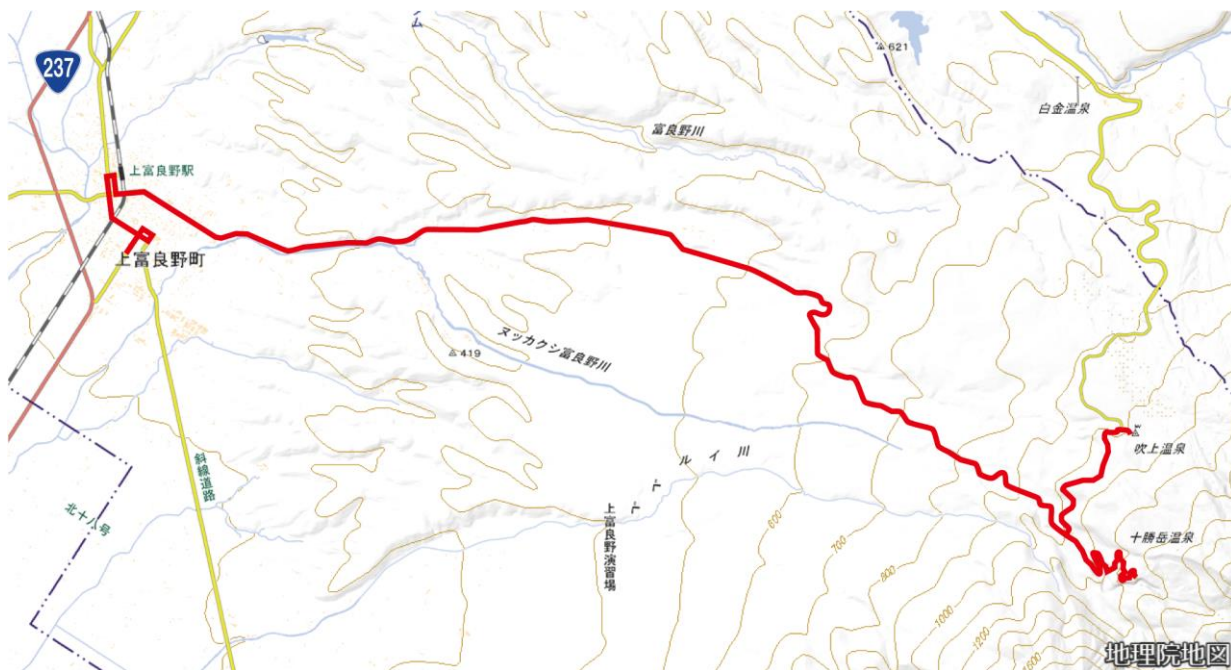


図 11 上富良野町営バス路線

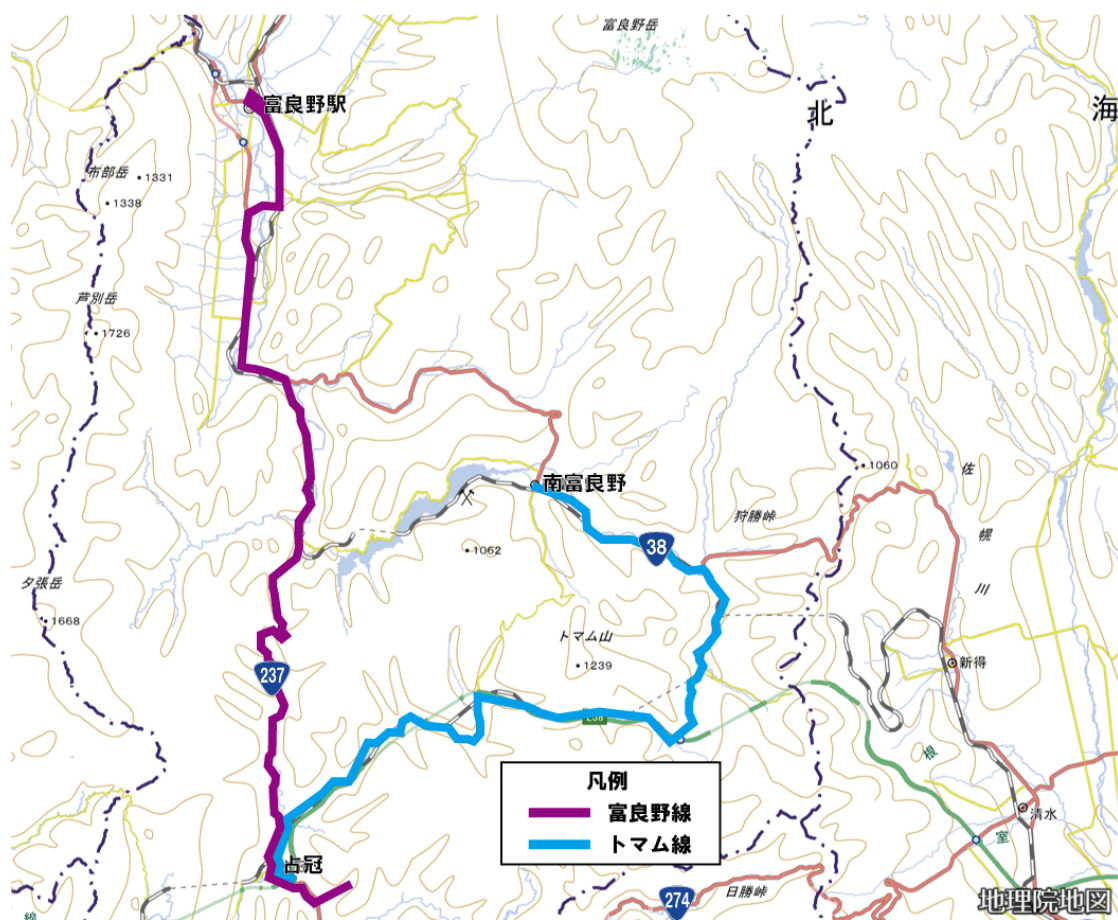


図 12 占冠村営バス路線

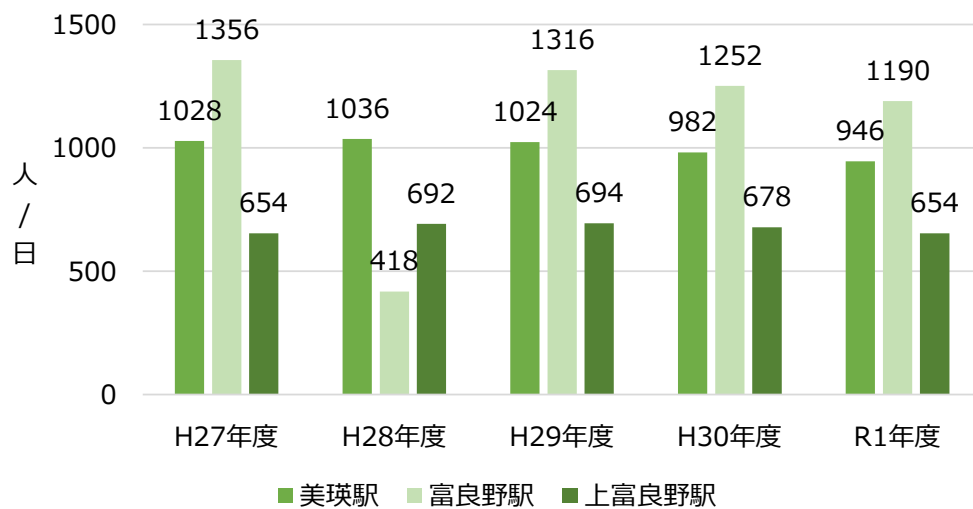
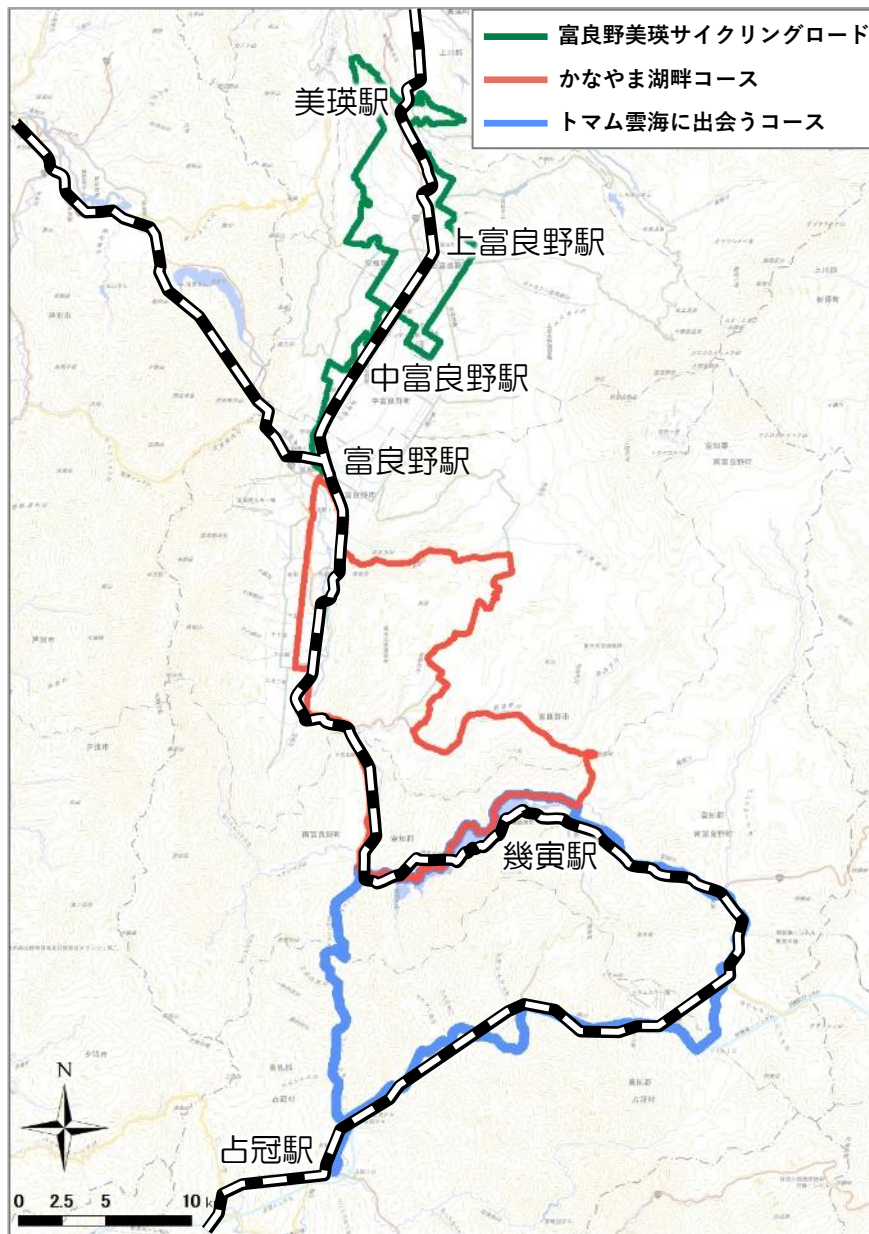


図 13 鉄道路線及び駅別の日乗降客数

出典：国土数値情報（駅別乗降客数データ）

⑥ 観光客数

富良野美瑛地域の観光入込客数は、平成 23 年度以降大きく増加しています。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、対前年度比で約 5 割減と観光入込客数が大きく減少しました。

観光客の特徴として、日帰り観光が 8～9 割と多くなっています。また、月別ではラベンダー時期の 7 月が観光ピークであり、年間を通じて最も観光客が訪れています。スキー場のある富良野市や占冠村は 12～2 月の冬期にも第 2 の観光ピークが見られます。

外国人宿泊者数は、占冠村と富良野市が富良野美瑛地域内でも特に多くなっています。令和 2 年度は新型コロナウイルスによる海外との渡航禁止等により、宿泊者は約 1,700 人と大幅に減少しました。

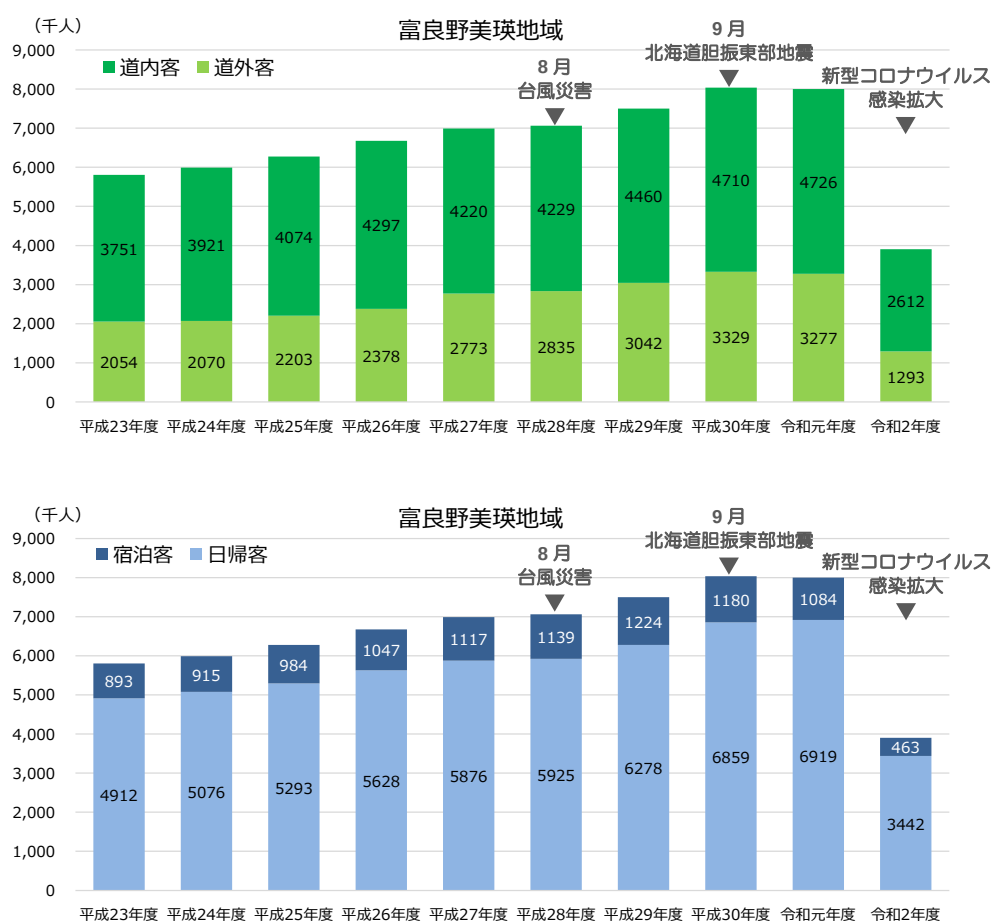


図 14 観光客入込客数の推移

出典：北海道観光入込客数調査

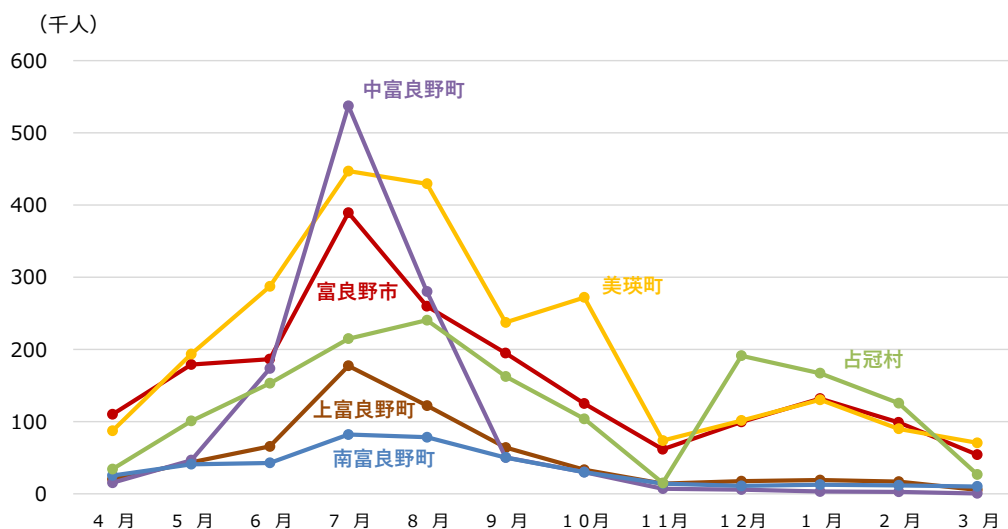


図 15 月別観光入込客数（令和元年度※コロナ禍前）

出典：北海道観光入込客数調査

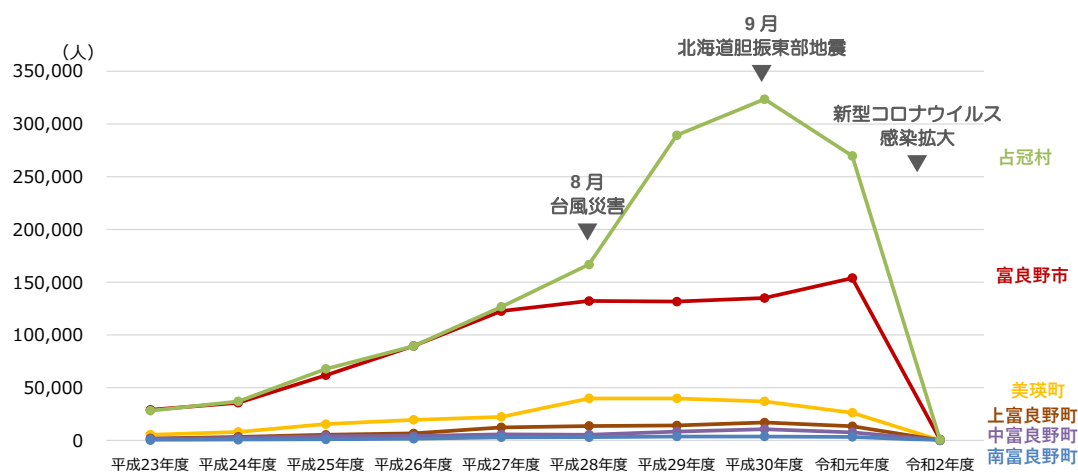


図 16 外国人旅行者宿泊延数の推移

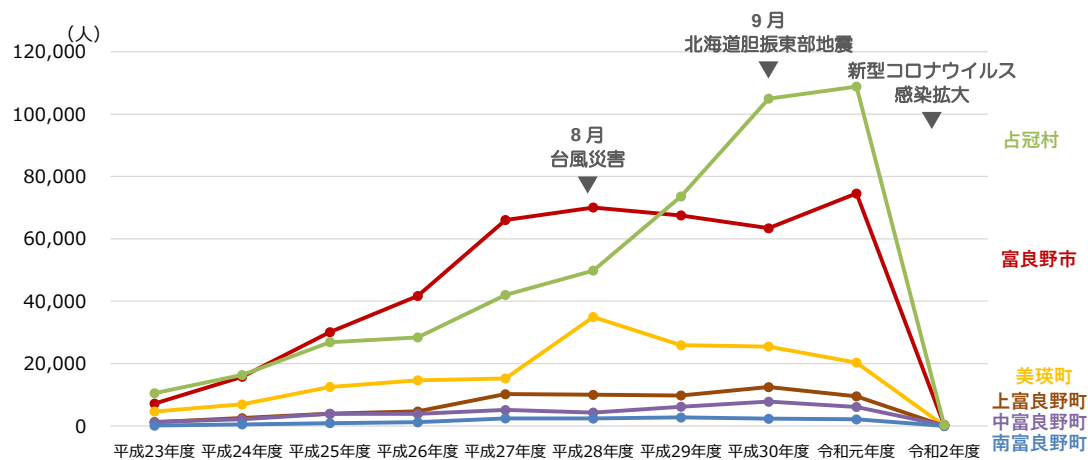


図 17 外国人旅行者宿泊延数の推移（5-10月）

出典：北海道観光入込客数調査

施設別や地域別の観光入込客数を見ると、リゾートホテルのあるトマム地区に年間 100 万人以上が訪れていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け令和 2 年度は約 40 万人に減少しました。その他、富良野美瑛地域には年間 10 ～30 万人が訪れる観光施設が多数立地しています。

表 5 主な観光地別年間観光客入込客数の推移

市町村	施設・地区名	観光入込客数		
		H30	R1	R2
美瑛町	白金ビルケ	252,846	233,388	139,064
	丘のくら	320,991	312,657	312,116
	北西の丘	118,762	16,386	4,938
	四季の情報館	154,409	128,197	36,974
上富良野町	十勝岳地区	126,294	130,115	101,178
	深山峠地区	171,351	174,893	64,112
	東中地区	11,509	14,411	462
	江幌・静修・草分・江花地区	72,176	65,585	18,012
	市街地及び周辺	192,012	194,141	69,233
	イベント	16,987	19,663	0
中富良野町	ファーム富田	1,140,300	1,121,550	363,250
富良野市	道立公園エリア	102,856	96,992	70,232
	ぶどうヶ丘公園	196,034	186,007	82,168
	ラベンダーの森	154,510	149,602	98,086
	麓郷の森エリア	237,446	224,365	110,402
	プリンスリゾートエリア	323,556	306,598	132,304
	富良野山岳エリア	4,498	3,670	3,027
	はるにれフーズパーク	122,132	116,044	46,954
	まちなかエリア	636,954	674,910	482,932
	イベント	107,200	95,300	5,568
南富良野町	かなやま湖畔キャンプ場	7,605	9,936	
	かなやま湖オートキャンプ場	2,612	3,190	
	鉄道員（ぽっぽやロケ地）	28,368	36,890	
	国設南ふらのスキー場	7,867	10,000	
	イベント	8,200		
占冠村	トマム地区	1,202,146	1,051,077	403,557
	占冠村物産館	38,382	33,975	27,593
	道の駅自然体感しむかつぶ	410,712	402,168	192,632

出典：美瑛町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村

2-2 自転車交通関連状況

① 自転車通行空間の整備状況

富良野美瑛地域では、6市町村をまたぐ富良野美瑛サイクリングルートを設定し、自転車走行空間の整備を推進しています。サイクリングルートでは、全線にわたって進行方向や番号を表示したルート案内用の路面表示を交差点部や単路部で整備しています。交差点部では主に交差点手前と右左折直後に設置し、単路部では2km毎に設置をしています。また、トンネル手前や急カーブ手前などの危険箇所には矢羽根路面表示を実施したりしています。自動車の走行や除雪作業により劣化した路面表示は、適宜再施工し、自転車走行空間の維持に努めています。



図 18 走行環境整備状況（路面表示）

② 自転車利用状況（交通分担率）

6市町村の居住者が通勤に自転車を利用する割合は、上富良野町が14.7%、美瑛町が13.5%、南富良野町が12.3%となっています。その他3市町村は1割未満と少なくなっています。

通学での自転車利用割合は、富良野市が64.2%と非常に高くなっています。その他、上富良野町が34.6%、中富良野町が33.0%と通勤に比べ利用割合が高くなっています。占冠村は乗合バスが約7割を占め、自転車通学の割合は2.9%と非常に小さくなっています。

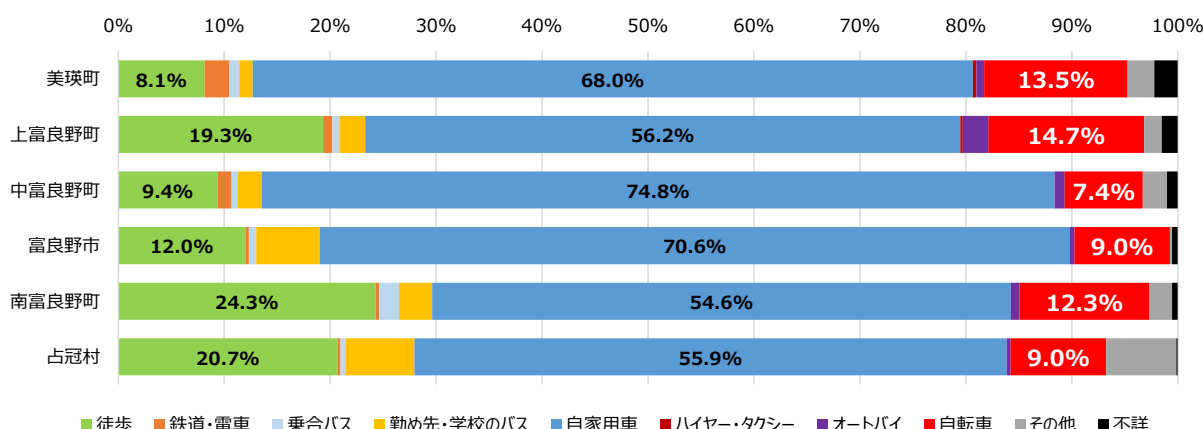


図 19 6市町村を常住地とする人の通勤に利用する交通手段

出典：平成 22 年国勢調査

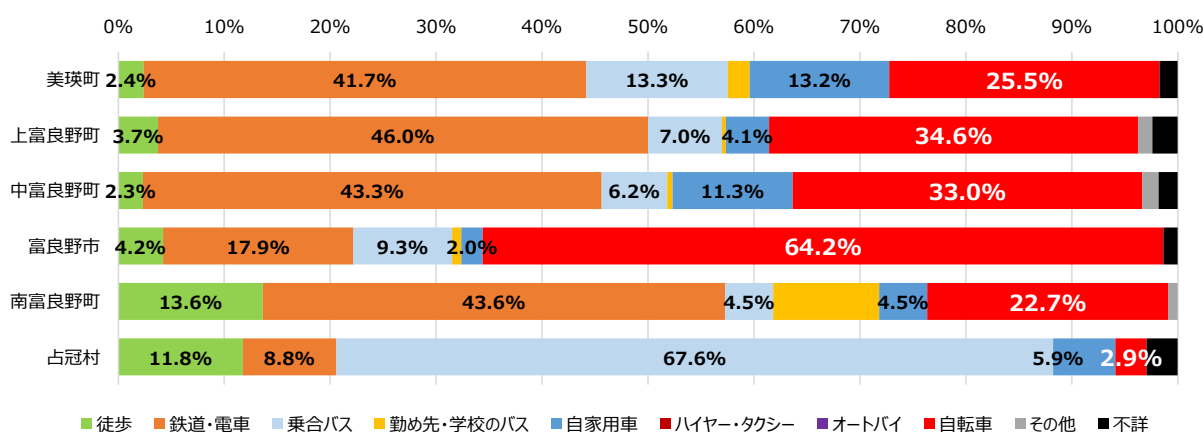


図 20 6市町村を常住地とする人の通学に利用する交通手段

出典：平成 22 年国勢調査

③ 自転車断面交通量

富良野美瑛サイクリングルート上の国道や道道では、市街地に近い区間での自転車交通量が多くなっています。

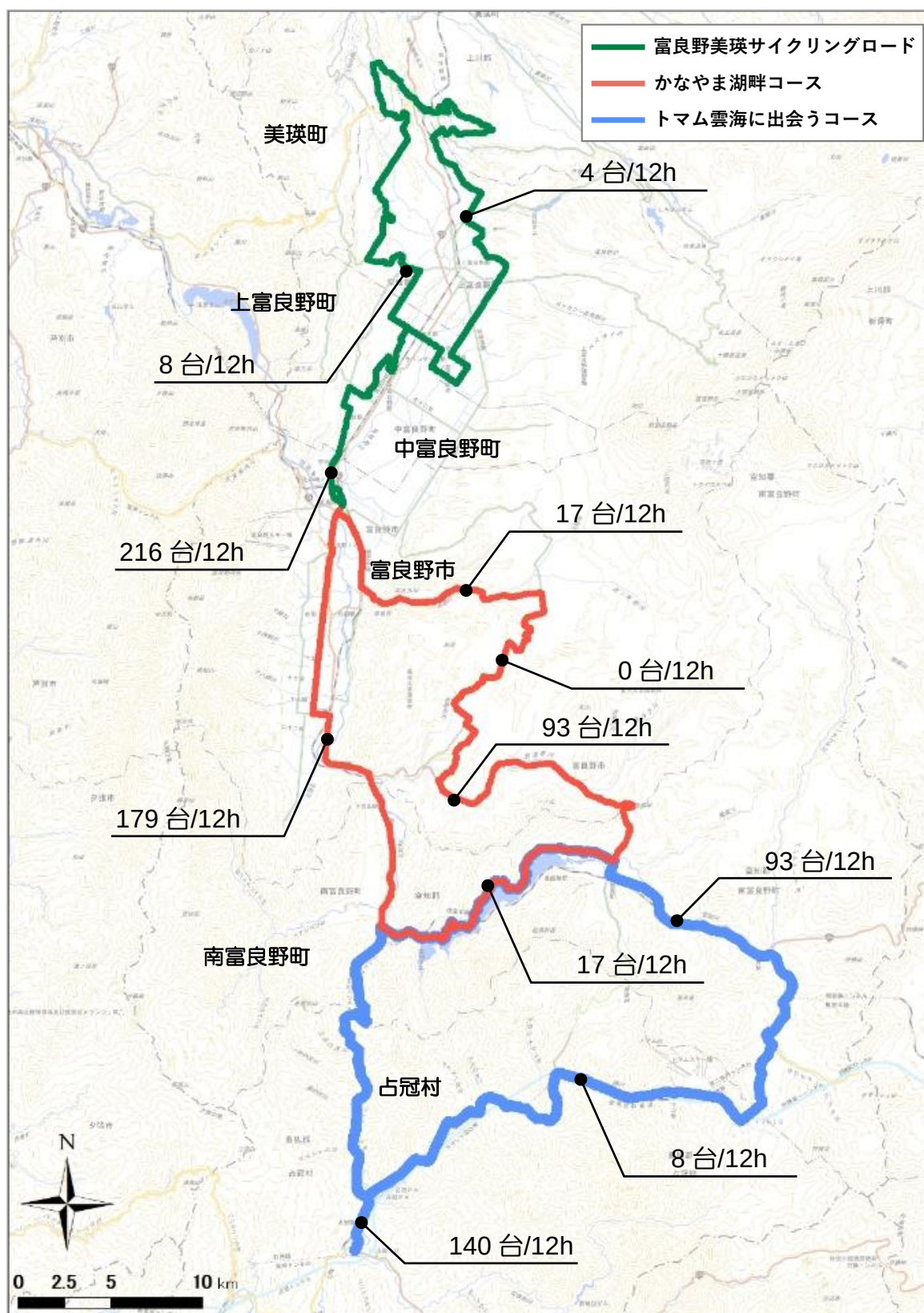


図 21 自転車交通量図

出典：H17 道路交通センサス（引き出し線の箇所を含む区間の交通量）

④ 自転車関連事故の発生状況

道内の自転車事故発生件数を見ると、平成 28 年頃からほぼ横ばいで推移しており、年間約 1,400 件が発生しています。死亡事故は特に高齢者で多く発生しています。対歩行者の衝突発生箇所は、歩道が約 6 割と最も多く、歩道走行方法の周知や原則車道走行を徹底する必要があります。

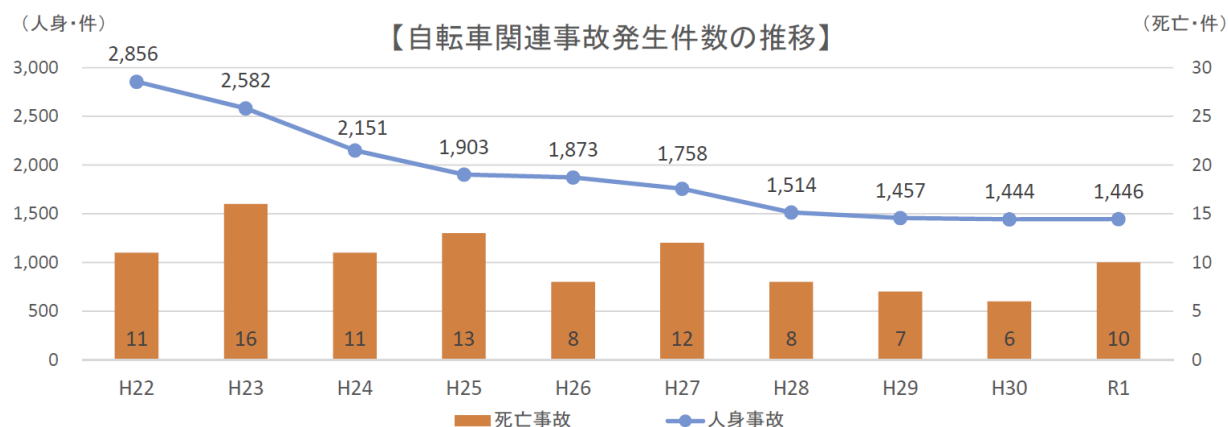


図 22 自転車関連事故発生件数

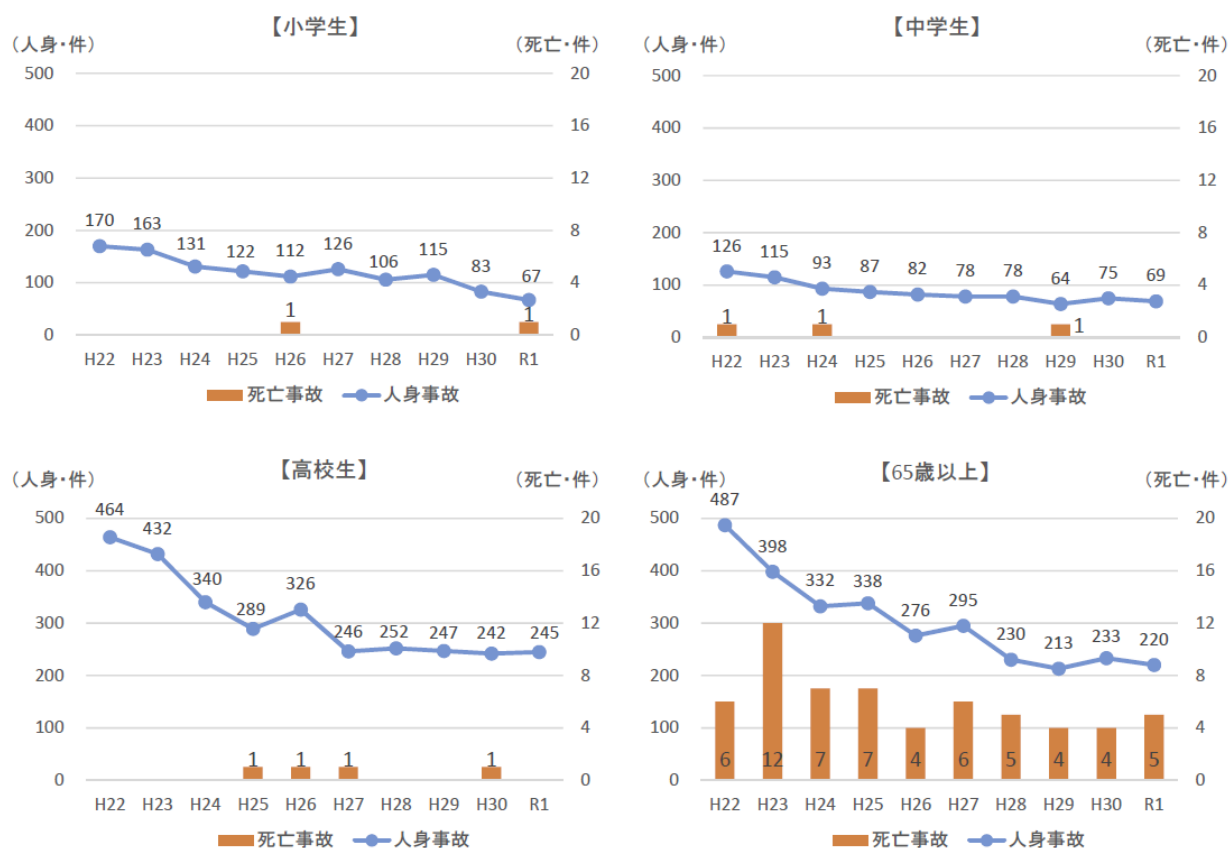


図 23 年齢別自転車関連事故発生件数・死亡事故件数

出典：自転車関連事故等の分析（北海道警察）

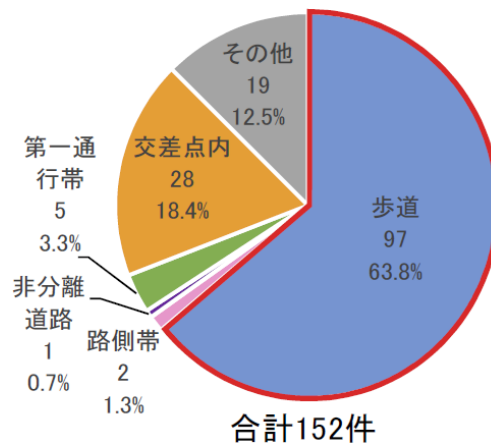


図 24 対歩行者の衝突発生箇所

出典：自転車関連事故等の分析（北海道警察）

富良野美瑛地域では、自転車に関する死傷事故が過去 5 年間で年間 3～5 件発生しています。事故は富良野市内での発生が多く、南富良野町と占冠村では過去 5 年間で事故は発生していません。

自転車に関する死亡事故は発生していませんが、毎年同程度の件数が発生しており、事故の約 3 割が重傷事故となっています。

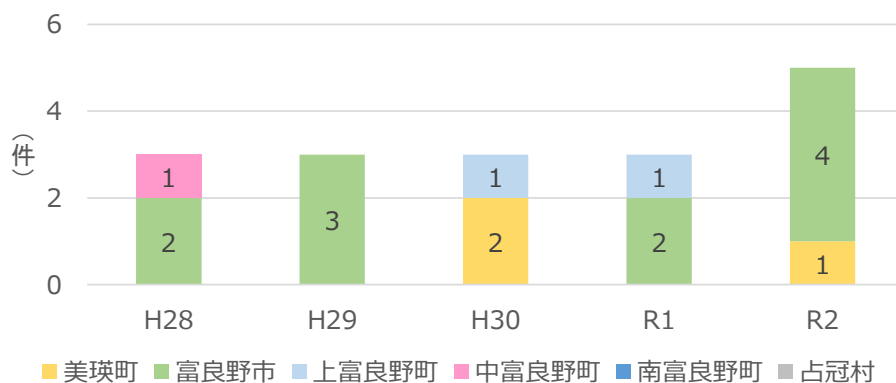


図 25 自転車事故件数

出典：北海道警察

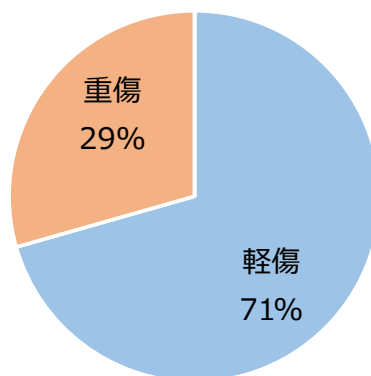


図 26 自転車事故の種類（H28～R2）

n=17
出典：北海道警察

⑤ 交通安全に向けた地域の取り組み

富良野美瑛地域では、自転車利用者の安全確保のため、警察や地域と連携した交通安全教育やルール・マナーの啓発活動を行っています。

表 6 交通安全に向けた取り組み実施状況

市町村	対象	取り組み実施状況
美瑛町	小中学校 7 箇所	● 講話、DVD 視聴 ● 歩行・自転車実技など
富良野市	保育関係 2 箇所 小中学校、高校 16 箇所	● 青空教室&ダミー実験 ● 講話、DVD 視聴 ● 歩行・自転車実技など
上富良野町	保育関係 4 箇所 小中学校、高校 3 箇所 高齢者大学 1 箇所	● 青空教室 ● DVD 視聴 ● 出前講座
中富良野町	こども園 1 箇所 小中学校 5 箇所 高齢者大学 1 箇所	● 青空教室 ● 交通安全資材配布 ● 講話、DVD 鑑賞
南富良野町	保育関係 1 箇所 小学校 2 箇所	● 青空教室 ● DVD 視聴
占冠村	小中学校 3 箇所	● 講話、DVD 視聴 ● 歩行・自転車実技など

(3) サイクルツーリズムの取り組み状況

6市町村は富良野美瑛ルート協議会が推進する富良野美瑛サイクリングルート
のフィールドであり、そのルートは各市町村を通過する設定となっています。

また、北海道のモデルルートとして申請されており、サイクルツーリズムを推
進する取り組みが進められています。

① サイクリングルートの設定

富良野美瑛サイクリングルートは総延長 248km のルートで、3つのコースが設
定されています。そのうち、富良野美瑛サイクリングロードとかなやま湖畔コー
スは富良野駅を拠点としたルートとなっています。

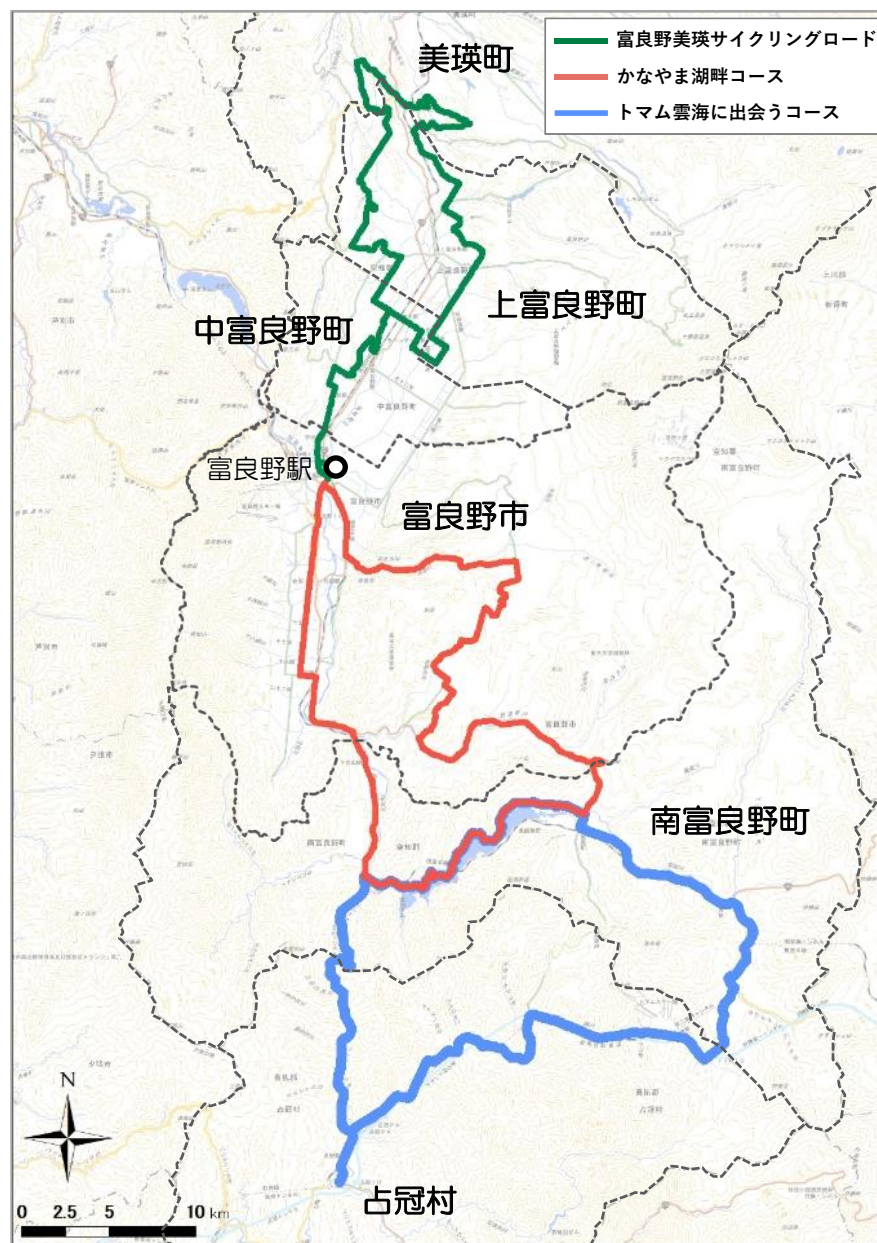


図 27 富良野美瑛サイクリングルート

② 広域サイクリングルートにおける利用促進の取り組み

富良野美瑛サイクリングルートでは、北海道のサイクルツーリズム推進方針に基づき、統一ロゴマークを用いたルートの案内標示や危険箇所に対する注意喚起の路面表示、サイクル拠点の整備（サイクルラックの設置等）、サイクルマップによる情報提供などを行っています。



図 28 案内表示の例

③ サイクリングマップの作成

富良野美瑛地域では、各地域の観光協会等がサイクリングマップを作成し、観光施設等で配布を行っています。富良野美瑛ルート協議会が推進する広域サイクリングルートである富良野美瑛サイクリングルートの他にも、上富良野町や美瑛町等の地域サイクリングマップを作成しています。

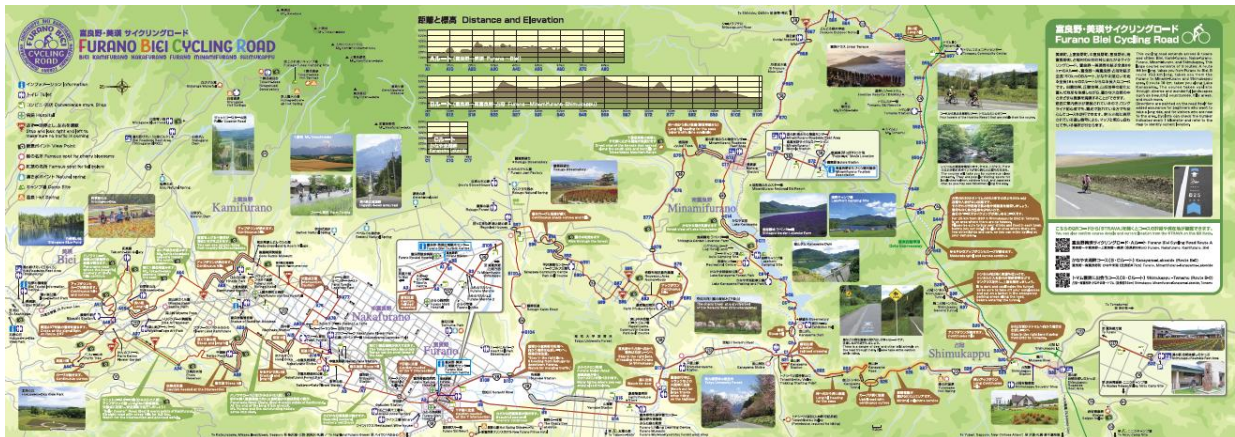


図 29 富良野美瑛サイクリングロードマップ

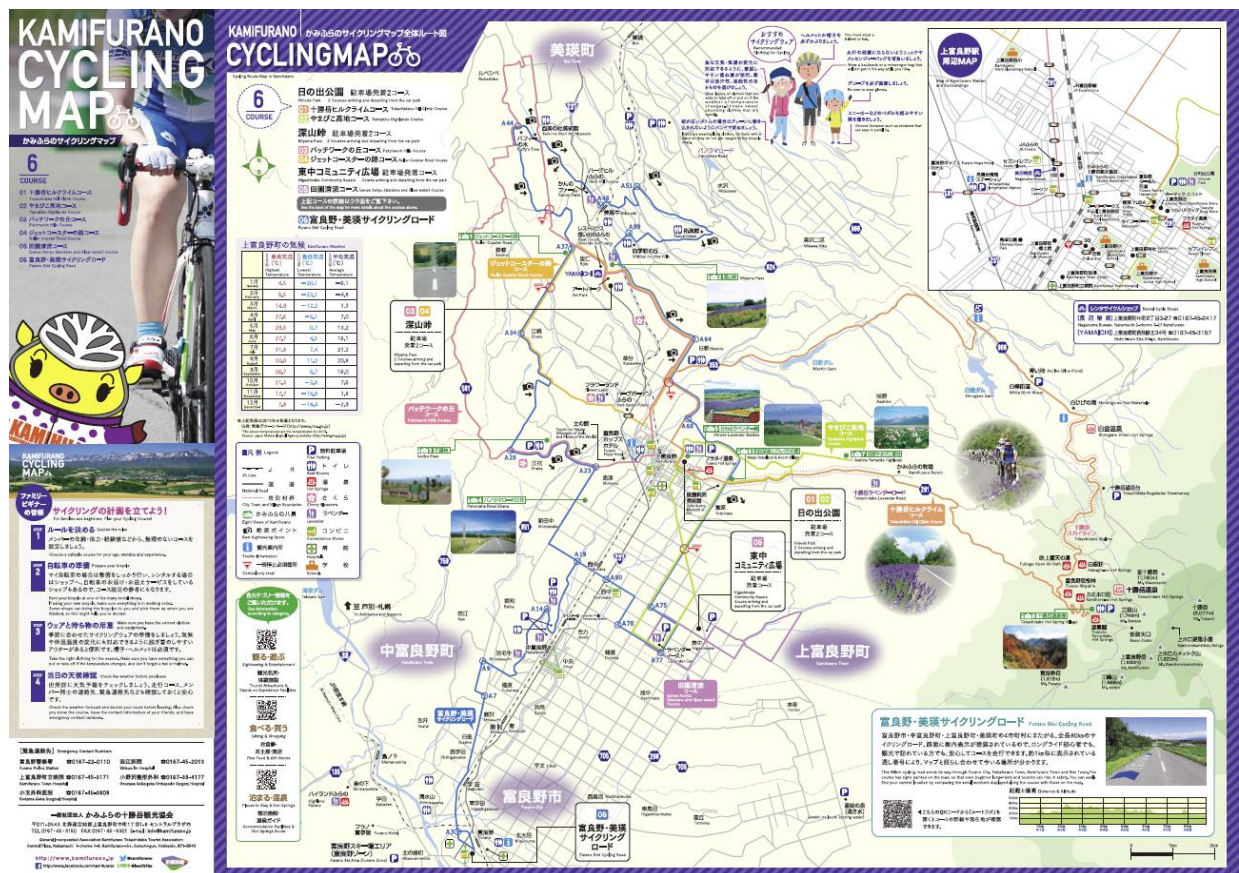


図 30 上富良野サイクリングマップ

20.8km



**Biei River-Blue Pond
Cycling
Coruse**

問合せ先 美瑛町観光協会
contact Tourist Information Center
0166-92-4378
 www.biei-hokkaido.jp

- このコースは自転車専用道路ではありません。歩行者など他の利用者にもご注意ください。
- ビューポイントなどで停車する際は後続の自転車の迷惑にご注意下さい。
- 路況の舗装の状況や、車止めなどにご注意下さい。

Dear Cyclists - to enjoy your cycling safely -

- This course is not dedicated for bicycles. Please pay kind attention to the safety of other users such as pedestrians.
- When stopping at viewpoints, etc., please watch out for other bicycles coming after you.
- For your safety, please pay attention to the surface condition of pavement and equipments such as car stops.



美珠川
Biei River
長さ: 67.6km/流域面積: 717.6km²
長さ: 67.6 km / watershed area: 717.6 km²
美珠川は十勝岳南麓のツリガネ山を源流とし、白金温泉、美瑛町を経て、旭川市内の見本川の下游で豊別川と合流します。美珠川には活火山である十勝岳の砂防施設が設けられており、青い色はこの施設の一部です。
The source of the Biei River is Tokachi dake mountain range. It flows down Shirogane Onsen, Biei Town, and joins the Chubetsu River at Asahikawa. This river has Sabo facilities (Erosion control facility). The blue pond is part of this facility.



青い池
Blue Pond
山砂防施設用堰堤で偶発的に誕生した池です。白金温泉の上流にある「破釜沢川」や「白ひげの滝」等からのアルミニウムを含んだ地下水と美津川の水が混ざり発生したコロイド粒子が太陽光を浴びて光を反射し、池の水が青く見えると言われています。

Shirogane Blue Pond was made by accident as the by-product of attempts to control mudslides. Aluminum that has seeped into the water scatters the sunlight, causing the pond to look blue.



白ひげの滝
Shirahige Falls

奥阿蘇より27km
27km from Suifu

国内でも有数の「清流源（せんりゅうげん）」と呼ばれる珍しいタイプの滝です。湧き上がった地下水が崖の途中より勢いよく渓流に流れ落ちて滝となっています。

Underflow water flows down out of the cracks in the rock wall. It is one of the rare waterfalls in Japan.



図 31 美瑛川・青い池サイクリングコースマップ

④ レンタサイクル

富良野美瑛地域では、自転車店や観光施設など多くの箇所でレンタサイクルを取り扱っています。電動自転車の貸し出しを行っている箇所も多く、丘陵地の多い富良野美瑛地域でも快適にサイクリングを楽しむことができます。

表 7 レンタサイクルの取扱状況（1/2）

	市町村	設置場所	種類					
			ロードバイク	MTB	クロスバイク	ファットバイク	普通自転車	電動自転車
1	美瑛町	美瑛物産公社					○	○
2		道の駅びえい白金ビルケ	○		○	○		○
3		寺島商会	○		○		○	○
4		宇野商店					○	○
5		滝川サイクル		○			○	○
6		ガイドの山小屋						○
7		Guided Cycling Tour 美瑛						○
8		Biei Hills						○
9	上富良野町	Café YAMAICHI			○			
10		後藤純男美術館						○
11		かみふらの十勝岳観光協会						○
12	中富良野町	立野サイクル		○			○	○
13		ノーザンスターロッジ						○

出典：各自治体調べ（令和4年2月時点）

表 8 レンタサイクルの取扱い状況（2/2）

	市町村	設置場所	種類					
			ロードバイク	MTB	クロスバイク	ファットバイク	普通自転車	電動自転車
14	富良野市	遊び屋		○			○	○
15		スポーツピア		○			○	
16		杉本レンタサイクル					○	
17		ラベンダーショップもりや					○	○
18		長江商店					○	○
19		藤田サイクル					○	
20		レンタルサイクルショップ ウェイブス				○	○	○
21		拾ってきた家					○	
22		FURANO NATURE CLUB		○	○			○
23	南富良野町	NPO 法人南富良野 まちづくり観光協会	○					○
24		サイクルステーション 南富良野	○					○
25	占冠村	道の駅自然体感しむかっぴ	○	○		○		○

出典：各自治体調べ（令和4年2月時点）

⑤ ガイド付きサイクリングツアー

富良野美瑛地域は、ガイド付きサイクリングツアーも多数用意されています。4月頃から10月まで実施しているものが多く、2～3時間の半日コースから1日コース、オーダーメイドコースまで様々なニーズに対応したツアーが準備されています。富良野美瑛地域では、レンタサイクルと共に来訪者が自転車を楽しめる環境が整っています。

表 9 ガイド付きサイクリングツアーの実施状況

	事業者名	所在	実施期間	受入可能人数	エリア (走行市町村)	所要時間
1	遊び屋	富良野市字学田 3 区 4746 番	MTB サイクリング 4 月～11 月 電動自転車 ガイドツアー 4 月～11 月	MTB 最大 40 名 電動自転車 最大 8 名	MTB 富良野郊外 電動自転車 美瑛 or 富良野	約 3 時間
2	スポーツ ピア	富良野市北の峰町 18- 1 北の峰ターミナル 1F	4 月～10 月	最大 30 名	富良野市内 (アレンジ可)	約 2 時間半 ～ 3 時間
3	富良野 ネイチャー クラブ	富良野市北の峰町 10- 22	4 月～10 月 E-BIKE(電動ア シスト付スポー ツバイク)	最大 5 名	富良野市内 (アレンジ可)	約 3 時間
4	ジャパン レンタル	富良野市北の峰町 14- 50	4 月～10 月 ※修学旅行体験 学習向け	最大 40 名	富良野市内	約 3 時間
5	ウレシパ・ フラノ	富良野市東町 9-5	5 月～10 月 (E-BIKE メイ ン)	家族単位 (中学生 以上) 受入数は 要相談	上富良野 ～富良野 (アレンジ可)	約 3 時間
6	Bike Tours Japan (北海道 パウダー ガイド)	富良野市北の峰町 2- 14	5 月～9 月	6 名程度	富良野/美瑛 /東川	ロードバイ ク: 1 日 E-BIKE: 半日 要相談
7	Café YAMAICHI	上富良野町西 9 線北 34 号	要相談	2 名～	上富良野	半日コー ス 3 時間 1 日コー ス 5 時間
8	ノーザンス ターロッジ	中富良野町西 1 線北 14 号	GW～降雪前	最大 6 名	富良野/美瑛	約 3 時間
9	NORTH GEAR	南富良野町字幾寅 687 (夏季)	4 月～10 月	2～20 名	全道可	オーダー メイド制
10	占冠村サイ クルツーリ ズム推進実 行委員会	占冠村	適宜企画実施	企画内容に よる	占冠	企画内容 による
11	Guided Cycling Tour	美瑛町大町 1 丁目 1- 7	4 月下旬～10 月下旬	団体貸切も 可・受人数 要相談	美瑛町内	1 時間～ 最大 5 時間

※実施期間は通常の概ねの期間を記載しています。

※令和 3 年 12 月時点

⑥ サイクリングイベントの開催

富良野美瑛地域は、これまで数多くの自転車イベントが開催され、地域活性化や観光振興に寄与してきました。特に富良野市、美瑛町、占冠村では積極的にイベントが開催されています。中でも丘のまちびえいセンチュリーライドは毎年約1,000 人ものサイクリストが集まる大きなイベントです。しかしながら、令和2年度や3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、軒並みイベントが中止となっています。

表 10 サイクリングイベント開催状況（H28～R2）（1/2）

No	開催時期	イベント名	市町村	参加者数			備考
				道内	道外	国外	
1	H28.6.5	ニニウの樹でクラフト体験ツアー	占冠村	14			
2	H28.6.26	GREAT EARTH 北海道富良野ライド	富良野市	536	192		
3	H28.8.11	巨石と苔の森、散策フォト & 苔玉作り・トマトジュース 作り体験ツアー	占冠村	9			
4	H28.9.9	第2回占冠村 ガイドツーリング in 双珠別	占冠村	9			
5	H28.9.10～11	サイクリングで砂金堀り & 野菜収穫体験ツアー	占冠村	10			
6	H28.9.17～18	丘のまちびえい センチュリーライド	美瑛町	1,050	166		
7	H28.9.25	なかふらのサイクリング	中富良野町	52	0		謎解きミッションを 解く(11 か所 CP)
8	H28.10.5～6	トマム～双珠別林道～ 湯の沢温泉 写真と苔玉作り& トマトジ ュース作り体験ツアー	占冠村	5			
9	H28.10.15	第二回占冠村 ガイドツーリング in ニニウ	占冠村	11			
10	H29.6.24～25	GREAT EARTH 北海道富良野ライド	富良野市	396	155		
11	H29.8.16	ニコニコペダル 2017	上富良野町	39	1		
12	H29.8.27	かみふらの十勝岳 ヒルクライム	上富良野町	269			
13	H29.9.23～24	丘のまちびえい センチュリーライド	美瑛町	1,013	112		
14	H29.9.24	なかふらのサイクリング	中富良野町	59	0	3	ロングコース(8 か所 CP)&のんびりコー ス(4 か所 CP)

表 11 サイクリングイベント開催状況（H28～R2）（2/2）

No	開催時期	イベント名	市町村	参加者数			備考
				道内	道外	国外	
15	H30.2.3～4	占冠村ガイドツーリング winter Trip in TOMAMU	占冠村	12			
16	H30.6.9	第一弾 占冠村ガイドツーリング 『楽占（たのしむ）ライド』	占冠村	5	1		
17	H30.6.24	GREAT EARTH 北海道富良野ライド	富良野市	291	99		
18	H30.8.26	かみふらの十勝岳 ヒルクライム	上富良野町	139	4		
19	H30.9.4～5	丘のまちびえい センチュリーライド	美瑛町	944	130		
20	H30.9.16	ニコニコペダル 2018	上富良野町	100			
21	H30.9.24	なかふらのサイクリング	中富良野町	120	2		ロングコース(8 か所 CP) & のんびりコー ス(4 か所 CP)
22	H31.8.25	かみふらの十勝岳 ヒルクライム	上富良野町	160	12		
23	H30.10.6	双珠別ダム 紅葉ゆるゆるツアー	占冠村	11			
24	H30.10.28	目指すは完登 占冠No.1 ヒルクライム Ride	占冠村	1			
25	H31.1.20	Fatbike Downhill & Forest tour in TOMAMU	占冠村	12			
26	H31.2.24	第二回 Fatbike Downhill & Forest tour in TOMAMU	占冠村	9			
27	R1.6.23	新緑占川林道 のんびりツーリング	占冠村	9			
28	R1.6.23	GREAT EARTH 北海道富良野ライド	富良野市	387	101		
29	R1.9.15	ニコニコペダル 2019	上富良野町	81	2		
30	R1.9.22	なかふらのサイクリング	中富良野町	141	1		ロングコース(8 か所 CP) & のんびりコー ス(4 か所 CP)
31	R1.9.28～29	丘のまちびえい センチュリーライド	美瑛町	786	101		
32	R1.10.14	紅葉を見ながら ニニウキャンプ場へ GO !	占冠村	9			
33	R2.9.1～ R2.9.30	第 1 回丘のまちびえい サイクルスタンプラリー	美瑛町	671	42		

⑦ 自転車保険加入状況

令和2年度に北海道が実施した「道民意識調査」では、北海道自転車条例で自転車損害賠償保険への加入が努力義務になっていることを知っている人は道北地方が37.3%と他地域よりも高くなっています。また、道北地方アンケート回答者の自転車損害賠償の加入状況は、15.7%となっています。不明と未回答を除いた加入者と未加入者の比率は、69：31となり、他地域と比較して加入者の割合が最も高くなっています。

令和2年度に実施された民間企業（au 損保）の調査によると、北海道の自転車保険加入率は、46.8%で全国都道府県のうち34位となっています。

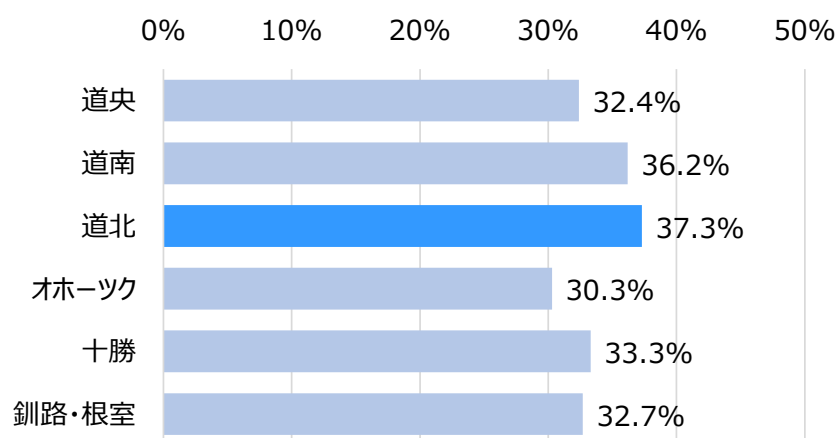


図 32 自転車損害賠償保険加入の努力義務認知度

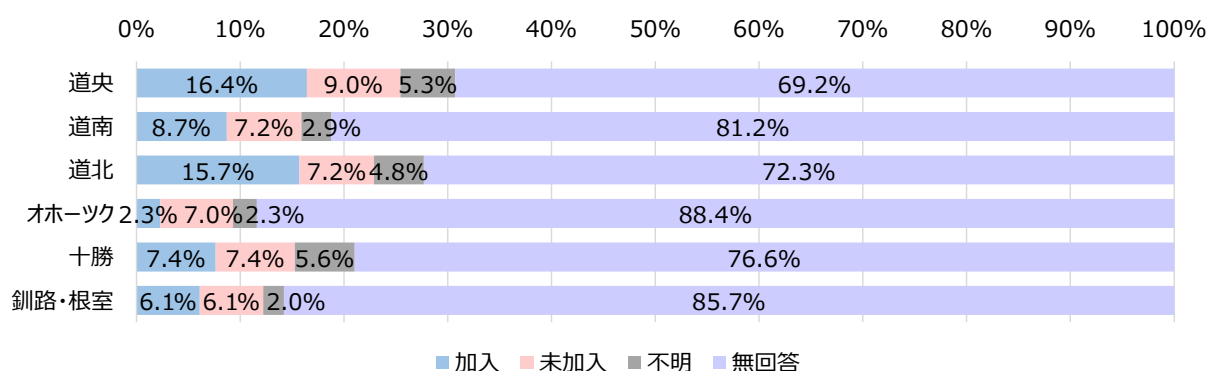


図 33 自転車損害賠償保険の加入状況

出典：令和2年度道民意識調査

(4) 自転車に関する利用者意識

占冠村のレンタサイクル利用者を対象に行ったアンケート調査によると、レンタサイクルを利用した人は、観光や移動の途中で占冠村に立寄った人が最も多く約 8 割でした。事前にレンタサイクルがあることを知っていた人は少なく、約 8 割の人が占冠村を訪れた際にレンタサイクルの存在を知り利用しています。利用した自転車の種類は、マウンテンバイク（MTB）が 54%と最も多く、ロードバイクと電動自転車とともに 23%でした。

調査時のレンタサイクルは無料ですが、有料化した際の支払意思額を聞いたところ、1 日・半日・1 時間のいずれのレンタル時間でも上限 500 円とする回答が最も多くみられました。

調査概要

調査対象：占冠村レンタサイクル利用者

調査期間：平成 28 年～令和 2 年（5 年間）

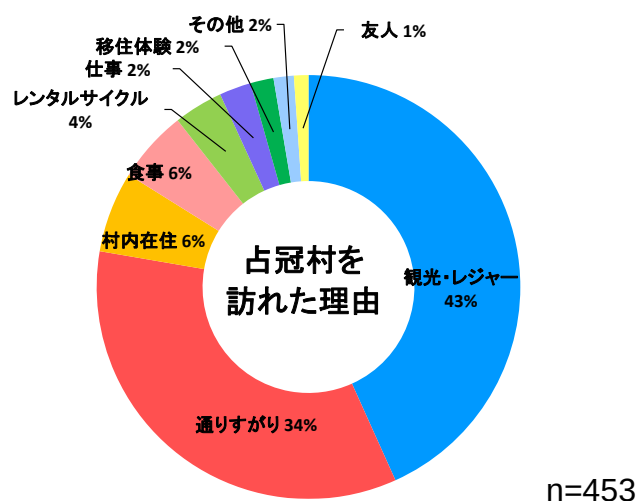


図 34 来訪理由

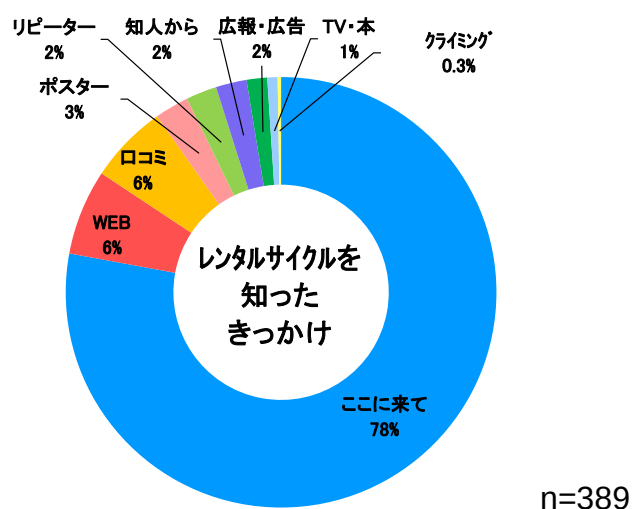
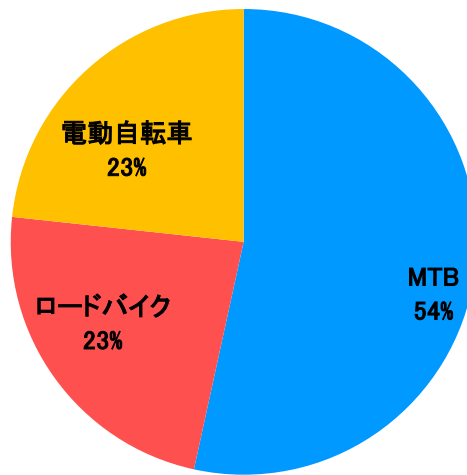


図 35 レンタサイクルを知ったきっかけ



n=438

図 36 レンタルした自転車の種類

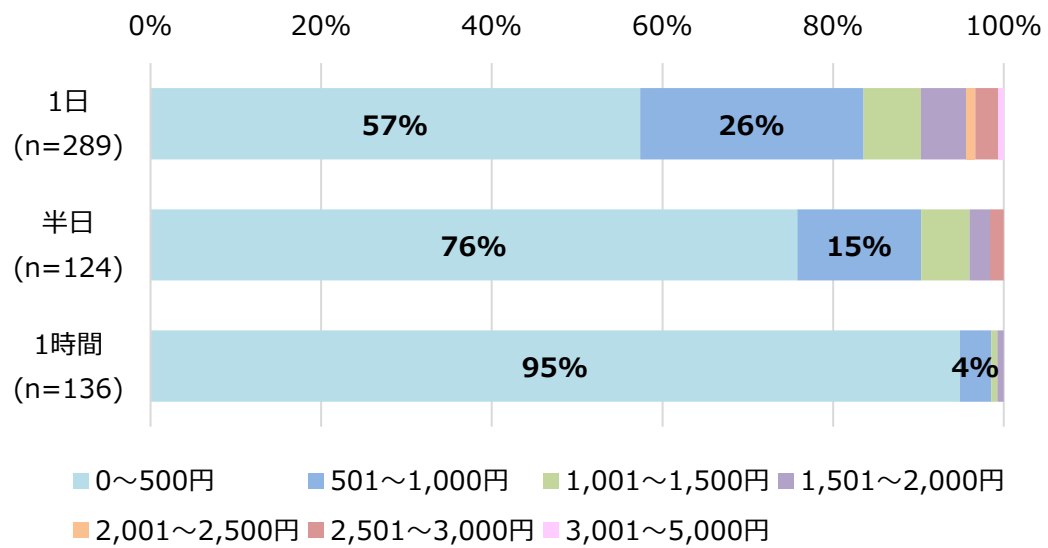


図 37 有料化した際の支払意思額

2-3 課題整理

富良野美瑛地域の地域特性や自転車利用環境に関する現状を踏まえ、自転車活用推進に関する課題を整理しました。課題は、国の自転車活用推進計画に示されている4つの目標毎に整理しました。

表 12 自転車活用推進に関する富良野美瑛地域の課題

国の目標	地域の現状	課題
【都市環境】 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成	● 富良野美瑛サイクリングルートでは、全区間で案内用の路面表示を行っている。 ● 広域サイクリングルートや地域ルートのサイクリングマップを作成している。 ● 自治体の関連計画では、サインの多言語化や自転車走行空間の整備・ゾーニング化等の取り組みを記載している。	● 走行環境整備に加え、受入環境の整備促進が必要。 ● 自転車施策推進に向けた各自治体の自転車活用推進計画、自転車ネットワーク計画の策定。
【健康増進】 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現	● 6市町村における自転車を利用した通勤は1割前後と少ない。 ● 通学における自転車利用率は、富良野市の割合が高く、占冠村は約3%と低い。 ● 平均寿命や健康寿命は延びている。	● 日常的に気軽に自転車を利用できる機会の増加。 ● 誰もが安全に自転車を利用できる環境の整備。
【観光振興】 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現	● 地域にはレンタサイクル店やガイド付きツアーが多数あり、多様なニーズに合わせた自転車利用環境を提供している。 ● 毎年サイクリングイベントを開催していたが、コロナ禍により近年は中止。国内外からの観光客数も大幅に減少。 ● 占冠村のレンタサイクルは、現地で存在を知った人が利用者の約8割。 ● 自転車交通量を把握できておらず、加えて自転車をフックとして観光に来ている入込も把握できていない。 ● 毎年開催しているイベントの地域への効果測定が十分にできていない。	● with コロナ、after コロナでのサイクルツーリズム促進。 ● コロナ収束後のインバウンド回復を視野に入れた取り組み。 ● サイクルツーリズムに関する情報発信・PR力の強化。 ● 自転車利用実態の把握と取り組みの効果把握に向けたKPIの設定。
【安全・安心】 自転車事故のない安全で安心な社会の実現	● 富良野美瑛地域では、自転車関連の死傷事故が年間3～5件発生している。 ● 自治体の関連計画では、自転車利用ルールやマナーの啓発、保険加入の促進等の取り組みが記載されている。 ● 自転車保険の加入率は34位/47都道府県と下位。	● 危険箇所の解消や注意喚起。 ● 自転車利用時のルール・マナー啓発活動の継続。 ● 自転車保険の加入促進。

3. 富良野美瑛地域の目指すべき姿

現状の整理結果から富良野美瑛地域におけるサイクルツーリズムの推進に向けた様々な取り組みを整理しました。快適な気候、美しい景観、自転車が走りやすい環境が揃っている富良野美瑛地域は、サイクルツーリズムの環境として素晴らしいポテンシャルを有しています。一方で、来訪者の自転車利用実態や利用ニーズが十分に把握できておらず、効果的・効率的な取り組みが十分にできているとは言えない状況です。また、今後の自転車利用環境整備の指針となる自転車活用推進計画や自転車ネットワーク計画も策定されておらず、明確な方針が示されていません。

計画的かつ着実に自転車利用環境の整備を進めるためには、富良野美瑛地域として目指すべき将来像を設定し、地域全体で認識を共有し、一丸となって取り組むことが必要です。

本計画では、「観光」を主なテーマとしてサイクルツーリズムを通じた富良野美瑛地域の活性化を目的として、目指すべき姿を以下の通り設定しました。

富良野美瑛地域の目指すべき姿

美しい景色と美味しい食がお出迎え
人と自転車にやさしいまち 富良野美瑛

4. 計画の基本方針

4-1 計画目標

富良野美瑛地域の現況と課題を踏まえたうえで、本計画における富良野美瑛地域の目標を以下の通り設定しました。

【目標1】サイクルツーリズムの促進に向けた、自転車走行環境と受入環境の整備

自転車利用環境の整備を計画的かつ着実に進めるため、本計画の方針を基本とし、富良野美瑛地域の6市町村における自転車活用推進計画及び自転車ネットワーク計画の策定を推進します。計画の策定においては、各自治体の特徴を踏まえるとともに、富良野美瑛地域全体で整合性を図るよう努めます。

各自治体は、策定した計画に基づき、富良野美瑛ルート協議会と連携しながら自転車ネットワークの形成や自転車利用環境の改善に向けた取り組みの推進を図ります。

【目標2】日常利用からサイクリングまで誰もが利用しやすい環境の整備

体への負担が少なく、多くの人が気軽に乗ることができる自転車は、子どもから高齢者まで多様な人が実施可能な運動として注目を集めています。自転車に乗ることで肥満防止や心肺機能向上、睡眠の質向上などの効果があると言われ、過度な自動車依存から脱し、徒歩や自転車による移動を促進することで健康増進が期待されます。

サイクルツーリズムのみならず、日常的な地域住民の自転車利用も考慮した自転車利用環境を整備することで、自転車利用者のすそ野を広げ利用促進を図ります。

【目標3】富良野美瑛サイクリングルートの世界標準化

景観や食など豊富な観光資源を有し国内外から多くの観光客が訪れる富良野美瑛地域は、観光が地域の重要な産業のひとつとなっています。新型コロナウイルスの感染拡大により、観光需要が低迷する中、with コロナ・after コロナを見据えたサイクリストの受入環境構築が必要です。

サイクルツーリズムによる観光促進を目指し、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たし、世界に誇りうるサイクリングルートとして国が指定する「ナショナルサイクルルート」の登録を目指します。

【目標4】自転車事故のない安全で安心な社会の実現

現在、富良野美瑛地域の自転車関連事故は少ないものの、事故の約3割は重傷事故となっています。自転車利用の促進に伴い自転車に慣れていない利用者が増加し、事故リスクが高まることも想定されます。

誰もが安心して安全に自転車を利用できる環境を整えるため、地域内の危険な箇所の解消や注意喚起による安全性の向上に努めます。また、自転車利用者だけでなく、自動車ドライバーも含めた走行ルール・マナーの啓発、保険加入の促進に引き続き取り組みます。

4-2 施策と取り組み

設定した4つの目標を達成するために実施する施策および取り組みを示します。

目標1 サイクルツーリズムの促進に向けた、自転車走行環境と受入環境の整備		
施策		取り組み
施策1	自転車利用空間の計画的な整備推進	① 地方版自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画の策定 ② 自転車通行空間の整備 ③ 自転車通行空間の改善 ④ サイクル拠点の整備 ⑤ 自転車マップの作成 ⑥ 自転車関連団体の活動PR
目標2 日常利用からサイクリングまで誰もが利用しやすい環境の整備		
施策		取り組み
施策1	サイクルスポーツ振興の推進	① タンDEM自転車の公道走行に関する検討
施策2	自転車を活用した健康づくりの推進	① 健康増進と連携した観光事業の促進
施策3	自転車通勤等の促進	① 自転車利用促進に向けた啓発活動 ② 自転車通勤の広報啓発 ③ 日常的な自転車利用機会の増加
目標3 富良野美瑛サイクリングルートの世界標準化		
施策		取り組み
施策1	世界に誇るサイクリング環境の創出	① 官民連携による先進的なサイクリング環境の整備 ② 情報発信機能の強化 ③ サイクルトレイン等の実施検討 ④ サイクリスト受入サービスの充実 ⑤ 自転車利用実態の把握 ⑥ 地域を担う人材の育成 ⑦ サイクルツーリズムに関する地域の機運醸成
目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現		
施策		取り組み
施策1	自転車の安全利用の促進	① 通行ルール・マナーの周知及び交通安全意識の向上 ② 自転車通行空間の整備に合わせた通行ルールの広報啓発
施策2	学校等における交通安全教育の推進	① 交通安全教室の開催
施策3	保険などの加入義務を推進させる取り組みの推進	① 北海道自転車条例の啓発

5. 自転車活用推進に向けた具体的施策

5-1 自転車利用空間の計画的な整備推進

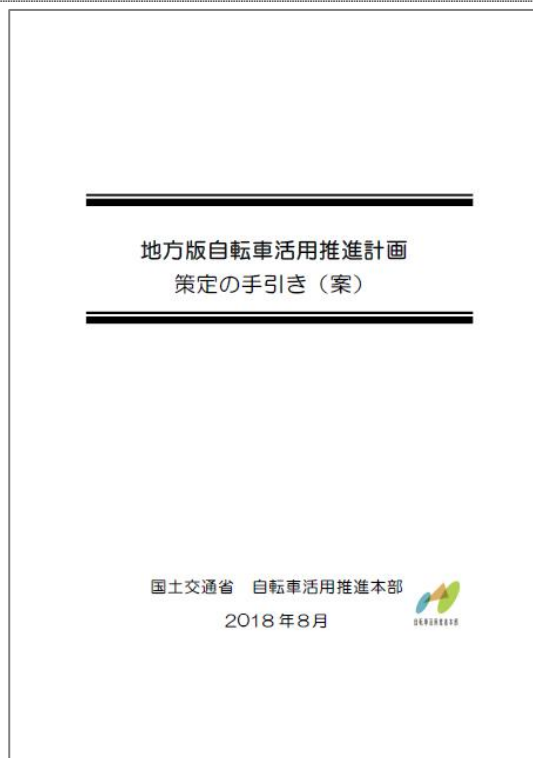
(1) 地方版自転車活用推進計画と自転車ネットワーク計画の策定

本計画は、富良野美瑛地域全体の自転車利用増進に向けた目標や取り組みを取りまとめたものです。本計画に示した取り組みを各地域で具体的に実施するためには、自治体単位でのより具体的な内容を示した「地方版自転車活用推進計画」の策定が必要です。地方版自転車活用推進計画は、ナショナルサイクルルート登録に向けた要件にもなっており、本計画の目標達成のためには無くてはならないものです。

「自転車ネットワーク計画」とは、安全で快適な自転車通行空間を効果的、効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態を示した計画です。

自転車通行空間の整備にあたっては、国土交通省と警察庁が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン（以下ガイドライン）」（平成24年策定、平成28年改定）を策定し、自転車は『車両』であるという大原則のもと、自転車通行空間整備の指針を示した。また、国の「自転車活用推進計画」では、地方公共団体における自転車ネットワーク計画を含む自転車活用推進計画の策定を推進しており、「北海道自転車活用推進計画」においても、自転車専用道路等の整備促進が掲げられております。

富良野美瑛地域においても、安全で快適な自転車通行空間の計画的な整備を推進するため、自治体毎の自転車活用推進計画策定とともに、自転車ネットワーク計画の策定を進めます。



主な取り組み内容	想定される実施者
自転車ネットワーク計画の策定	6 市町村
地方版自転車活用推進計画の策定	6 市町村

(2) 自転車通行空間の整備

富良野美瑛地域では、自転車通行空間として路面表示型のルート案内を富良野美瑛サイクリングルート全体で整備しています。また、トンネル手前や急カーブ手前といった危険箇所には矢羽根型路面表示の整備を進めています。

自転車ネットワーク計画の策定後は、富良野美瑛サイクリングルート以外の路線についても、ルート案内や危険箇所に対する注意喚起等の整備を検討します。

路面表示型のルート案内は、経年劣化や除雪作業、舗装工事によって消えている箇所もあるため、路面表示の再設置や標識柱・照明柱等に設置する案内シールの整備を進めます。



写真 見えにくくなった路面表示

主な取り組み内容	想定される実施者
富良野美瑛サイクリングルートにおけるルート案内看板やルート案内路面表示の設置	国、北海道、6市町村
日常的な維持管理によるルート案内看板やルート案内路面表示の維持	国、北海道、6市町村
危険箇所の矢羽根型路面表示の設置	国、北海道、6市町村
自転車ネットワーク計画路線の走行環境整備	国、北海道、6市町村

(3) 自転車通行空間の改善

自転車通行空間の整備とともに、更なる安全性・快適性向上のため、自転車通行空間の更なる改善についても検討します。

改善点を洗い出すため、自転車利用者や地域の自転車事業者から走行上の課題や改善点などの意見を収集します。また、実際に現地を走行することで利用者目線からの改善点を洗い出します。

主な取り組み内容	想定される実施者
自転車利用者へのアンケート調査	国、北海道、6市町村
地域の自転車事業者へのヒアリング	6市町村
有識者・モニターによる体験走行会の実施	国、北海道、6市町村

(4) サイクル拠点の整備

道の駅南ふらのには、サイクルステーションが設置されています。そのような人々が集い、情報を得ることができる拠点がルート上に整備されていることは、安心して楽しくサイクリングを行う上で効果的です。特に広大で都市間距離が長い北海道ではサイクリング途中でのアクシデントに対応するため、ルート上にサイクルツーリズムの拠点となる場の整備を検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
サイクルステーションや道の駅などサイクリストが交流や情報収集する場の整備	6 市町村

(5) 自転車マップの作成

富良野美瑛サイクリングルートでは、サイクリングマップを作成済みであり、各地域で独自のマップ作成も行っています。複数のサイクリングマップがあるものの、その内容は作成者によってバラバラであり内容の整合がとられていない状況です。

大学教授や NPO 法人等によって構成される「北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会」では、北海道のルートのブランド化保持の観点から基幹ルートにおいて、マップの標準化を図るべきとの意見が出されています。それを踏まえ、令和 3 年度に「北海道サイクルルート基幹ルート統一マップ」を作成しました。

今後は、作成した統一マップを基本として、必要に応じてマップ内容の修正・更新や統一マップを補完する地域ルートのサイクリングマップ作成を検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
基幹ルート統一マップの更新・配布	国、北海道、6 市町村
地域ルートのサイクリングマップ作成	6 市町村

(6) 自転車関連団体の活動 PR

富良野美瑛ルート協議会の活動内容を、ホームページや SNS を活用し広く一般に情報提供することにより、自転車利用に対する地域の理解を深め、利用促進に向けた機運を醸成し、円滑な整備促進に向けた体制構築を図ります。

主な取り組み内容	想定される実施者
ホームページによる自転車利用環境整備内容の広報	6 市町村
SNS による自転車利用環境整備内容の広報	6 市町村
広報誌を使った利用環境整備活動の情報発信	6 市町村

5-2 サイクルスポーツ振興の推進

(1) タンデム自転車の公道走行に関する検討

北海道は、道路交通法施行細則改正により令和2年4月1日から自転車専用道路以外の一般道でもタンデム自転車が走行可能となりました。新たな観光資源として、観光地でのタンデム自転車の導入について地域の事業者等と協議しながら検討します。

タンデム自転車の交通事故防止・注意事項



タンデム自転車ってどんな自転車なの？

複数人乗車用の構造を有し、ペダル装置が縦列に設けられた自転車のことです。北海道の道路交通法施行細則改正により、令和2年4月1日から、北海道において二人乗りタンデム自転車が自転車専用道路以外の一般道路（車道）でも走行可能となります。

タンデム自転車のルール

～タンデム自転車は「普通自転車」ではないので、ルールの違いに注意！～

軽車両
(タンデム自転車は軽車両に含まれますが、普通自転車ではありません。)

【普通自転車】



【普通自転車以外の自転車】



タンデム自転車は、普通自転車の規格外であり、普通自転車ではありません。

【自転車以外】

○リヤカー・荷車
○馬車・車
など

タンデム自転車は歩道を通行できません！

右の「自転車歩道通行可」の標識が対象としている自転車は「普通自転車」です。

右の標識があっても、**タンデム自転車は歩道を通行できません**。車道の左側端を通行しましょう。



自転車通行可

交通事故防止のための注意点

- 一般的な自転車と比べて車長が長く、運転感覚が異なるので注意が必要です。
- ルールをよく確認し、安全な場所で十分練習してから道路を走るようにしましょう。
- 発進、停止、右左折時には、声を掛け合うようにしましょう。

図 38 タンデム自転車の注意点

出典：北海道警察

主な取り組み内容	想定される実施者
レンタサイクルへのタンデム自転車の導入検討	観光事業者、 レンタサイクル事業者

5-3 自転車を活用した健康づくりの推進

(1) 健康増進と連携した観光事業の促進

富良野美瑛地域では、これまでサイクルツーリズムや観光をメインとしたサイクリングイベントを多く開催してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりサイクリングイベントは中止、観光入込客数も減少しています。

自転車は年齢や性別、体力を問わずその人に合わせて手軽にできる運動として人気が高まっていることをうけ、地域活性化の新たな切り口として自転車と健康をテーマにした観光事業の立案や実施を検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
健康をテーマにした新たなサイクリングイベントの企画・実施	観光協会、6市町村、イベント事業者
自転車利用による健康面での広報・PR活動	観光協会、6市町村

5-4 自転車通勤等の促進

(1) 自転車利用促進に向けた啓発活動

自転車の日常利用の拡大には、自転車が生活の一部として溶け込み誰もが意識せずに自転車を利用できる環境の創出が重要です。そのような状況に至るまでには、地域住民の意識や生活様式の変化を促していくことが必要です。

多様な自転車の情報や人々の生活スタイルに応じた楽しみ方、気を付けるべき点、自転車を利用することによる環境面や健康面のメリット等についてホームページやチラシなどを通じ、官民が連携して紹介していきます。

主な取り組み内容	想定される実施者
自転車利用を促すチラシ作成	6市町村
日常的な自転車利用の広報・周知	6市町村

(2) 自転車通勤の広報啓発

国土交通省や財団法人等で構成される自転車活用推進官民連携協議会では、自転車通勤導入に関する手引きの作成や自転車通勤推進企業宣言プロジェクトを始動し、自転車通勤の拡大に向けた取り組みを行っています。

富良野美瑛地域を構成する6市町村における通勤での自転車利用割合は10%前後となっています。通勤手段の約6~7割は自家用車利用と自動車依存度が高い状況です。

自転車で通勤することで自らの健康増進に繋がるだけでなく、自家用車からのCO₂排出量削減にも寄与し、SDGsの項目のひとつでもある気候変動（地球温暖化）への対策としても期待されます。

富良野美瑛地域では、自転車通勤によるメリットとして、経費削減や生産性の向上、企業イメージアップ等の事業者目線、身体的・精神的な健康増進等の従業員目線の双方に着目し、地域の企業や従業員に対してポスター・チラシなど啓発活動を行っています。



主な取り組み内容	想定される実施者
自転車通勤によるメリットの広報・周知	6市町村
自転車通勤の促進	企業

(3) 日常的な自転車利用機会の増加

富良野市役所や美瑛町役場では、職員が利用するための公用自転車を導入しており、近距離での移動に自転車を活用しています。移動時に二酸化炭素を排出しない自転車は環境に優しい移動手段として、カーボンニュートラルの取り組みにも貢献します。このように行政や地域住民の方々が気軽に自転車を利用できる環境を整えます。

主な取り組み内容	想定される実施者
公用自転車の導入	6市町村
職員に対する自転車利用促進の広報	6市町村
公共施設における自転車駐輪場所の整備	6市町村
自転車利用促進に関する広報活動	6市町村

5-5 世界に誇るサイクリング環境の創出

(1) 官民連携による先進的なサイクリング環境の整備

富良野美瑛地域では、これまで案内路面表示を整備するなど、富良野美瑛サイクリングルート of 自転車走行環境の整備を地域一丸となって進めてきました。今後は、ナショナルサイクルルートへの登録を目標に、国・北海道・市町村が連携した走行環境の整備や自治体と地域が協力して受入環境の整備を進めていきます。

新型コロナウイルス感染拡大によりインバウンドが大きく減少しましたが、コロナウイルス収束後の観光需要回復を見据えて、走行環境や受入環境、インバウンド対応の準備を進めます。また、少人数制や密集箇所の回避など新たな生活様式を取り入れた自転車利用環境の整備を検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
ルート案内表示の整備	6 市町村
インバウンドの自転車利用ニーズの把握調査	観光協会、6 市町村
観光ピーク期を避けたサイクリングの利用促進	観光協会、6 市町村

(2) 情報発信機能の強化

多くの方に富良野美瑛地域を自転車で訪れてもらうため、情報発信機能の強化を行います。国内外のサイクリストに広く地域のことを知ってもらうため、ホームページや SNS など Web 媒体を活用した富良野美瑛サイクリングルートの広報活動を強化します。日々の情報発信に加えて、PR 動画の作成やインフルエンサーによる情報拡散、モニターツアーの実施などを検討します。

その他、ゲートウェイ施設となる交通結節点での情報提供の強化、インバウンド向けの多言語化対応についても検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
HP や SNS による富良野美瑛地域の魅力発信	観光協会、6 市町村
富良野美瑛地域の PR 動画作成	観光協会、6 市町村
モニターサイクリングツアーの検討	観光協会、6 市町村
案内看板やポスター・チラシ、サイクリングマップの多言語化	観光協会、6 市町村

(3) サイクルトレイン等の実施検討

富良野美瑛地域では、JR や路線バス（ふらのバス株式会社）、自治体が運営するバスが運行しています。JR 富良野線は主に国道に沿って、概ね富良野美瑛サイクリングルートに沿うような形で運行しています。ふらのバス株式会社の路線バスは、ゲートウェイ施設である富良野駅を中心として運行しており、ラベンダー号は旭川空港を経由し、旭川駅まで運行しています。

広大で移動距離の長い北海道では、サイクルトレインやサイクルバスを活用することで自転車を使った観光の広域化・活性化が期待されます。また、交通事業者にとっては新たな顧客の獲得につながる可能性があります。

今後、利用者ニーズも踏まえながら、鉄道会社やバス事業者と協議をし、サイクルトレインやサイクルバスの運行について検討します。

主な取り組み内容	想定される実施者
サイクルトレイン、サイクルバスの導入に向けた協議、実験運行	交通事業者、6 市町村

(4) サイクリスト受入環境の整備

サイクリストが安心して快適にサイクリングを楽しむためには、道路の走行環境だけでなく、休憩施設やトイレ、自転車にやさしい宿、緊急時のサポート体制等の整備も重要です。ナショナルサイクルルートの必須要件としても、サイクリスト受入環境ではゲートウェイ施設でのタイヤチューブやパーツなどの物品購入、空気入れサイクルラックの設置、サイクリストに優しい宿泊施設の整備等が求められていますが、富良野美瑛地域では、それら受入環境の整備が十分に進んでいません。

今後受入サービスの充実に向けては、地域の宿泊事業者や観光事業者等と協力してサイクリストが快適に走行・休憩できるためのサービスの充実を図ります。

主な取り組み内容	想定される実施者
交通結節点、観光・宿泊拠点等における空気入れや修理工具、サイクルラック等の設置	観光協会、地域事業者、自転車関連団体、6 市町村
自転車や荷物の受発送サービス拡大、宿泊時の自転車保管場所の確保	宿泊施設

(5) 自転車利用実態の把握

観光入込客数やイベント参加者数、レンタサイクル利用者数などの数は把握できていますが、富良野美瑛地域における具体的な自転車利用実態を示すデータがありません。自転車施策を効果的に進めて行くためには、自転車の利用実態や利用者ニーズの把握、取り組みによる効果把握が重要です。

6市町村が協力し、富良野美瑛地域全体での自転車交通量調査や自転車利用者アンケート調査、事業者アンケート調査などの実施を検討します。また、効果検証のための KPI を設定し、必要に応じて把握調査を行います。

実態把握調査の結果を踏まえ、取り組み内容を見直すことで PDCA サイクルによる好循環を生み出します。

主な取り組み内容	想定される実施者
観光時期の自転車交通量調査	6市町村
富良野美瑛地域来訪者への自転車利用実態、ニーズ把握調査	観光協会、6市町村
経年的な自転車利用実態の変化把握	6市町村

(6) 地域を担う人材育成

走行環境などの社会インフラは行政が整備しますが、世界に誇るサイクリング環境を創出するためには受入環境の整備やおもてなしなど、ソフト面で地域の協力が必要不可欠です。取り組みを実施するためには、地域の意見を取りまとめ、行政と調整し、地域のために実行に移す行動力を持った人材が必要です。また、少子高齢化が進展する中、継続的に活動が続けていくためには地域の将来を担う人材の育成が求められます。

主な取り組み内容	想定される実施者
地域を取りまとめ行政との懸け橋となるキーマンや将来の活動を担う若手人材の育成	6市町村、観光協会、地域事業者

(7) サイクルツーリズムに関する地域の機運醸成

サイクルツーリズムとして成功するためには、受け入れ側となる地域の取り組みに対する協力が欠かせません。サイクルツーリズムの推進が地域にもたらす効果や懸念事項を地域住民に広く周知し、理解してもらうことで地域の機運を醸成し、円滑な取り組みの推進を実現します。

主な取り組み内容	想定される実施者
地域イベントなどでのサイクルツーリズムのPR	6 市町村
地域住民を対象としたサイクリングイベントの開催	6 市町村、観光協会、自転車関連団体

5-6 自転車の安全利用の促進

(1) 通行ルール・マナーの周知及び交通安全意識の向上

自転車利用者のルート・マナー向上のため、自転車利用者への広報活動を行います。多くのサイクリストが集まるイベント会場でのポスターやチラシによる啓発活動、地域住民や観光客をターゲットにした自治体や観光協会のホームページによる啓発活動などを推進します。

また、誰もが安全な道路通行空間を整備するためには、自転車側だけでなく、自動車側の安全意識向上も必要不可欠です。自転車の存在に注意を払ってもらうため、富良野美瑛サイクリングルートが存在を広く周知します。また、自転車を見かけた時には速度を緩める、自転車の横を通過する時には自転車との間隔を広く取る等、思いやりある運転をするよう啓発活動に努めます。

主な取り組み内容	想定される実施者
自転車走行ルール・マナーの啓発チラシ・ポスター作成及びサイクリングイベント等での配布・掲示	観光協会、自転車事業者、イベント事業者、6 市町村
行政広報誌での自転車利用マナー・ルールの周知	6 市町村
自動車ドライバーに対するサイクリングルートやルート案内路面表示の周知、自転車に優しい運転の啓発活動	観光協会、自転車事業者、イベント事業者、6 市町村、警察

(2) 自転車通行空間の整備に合わせた通行ルールの広報啓発

自転車通行空間を新たに整備した時には、整備内容のPRに加えて自転車通行ルールやマナーの広報活動も同時に行い、効率的なPR活動を行うよう努めます。

主な取り組み内容	想定される実施者
啓発チラシ・ポスターの作成及びサイクリングイベント等での配布・掲示	観光協会、自転車事業者、イベント事業者、6市町村
行政広報誌での自転車利用マナー・ルールの周知	6市町村

5-7 学校等における交通安全教育の推進

(1) 交通安全教室の開催

富良野美瑛地域の各自治体では、交通安全計画等に従って保育所や小中高校で安全教育を実施しています。児童や学生に安全に自転車を利用してもらうため、警察や学校と連携し、保育所や小中高校での安全教育を引き続き実施していき、交通ルールやマナーの徹底に努めます。

主な取り組み内容	想定される実施者
児童や学生を対象とした交通安全教室の開催	警察、教育機関

5ー8 保険などの加入義務を推進させる取り組みの推進

(1) 北海道自転車条例の啓発

道内の交通事故発生件数は減少傾向にあります。が、自転車関連の事故発生件数はほぼ横ばいで下げ止まりが見られます。また、自転車による対歩行者事故の件数は、平成 22 年から令和元年の 10 年間で約 2.6 倍に増加しています。

近年、自転車利用者が加害者になった交通事故では、自転車利用者側の損害賠償額が数千万円といった高額になる事例も発生しています。その際に自転車損害賠償保険等に参加していないと、高額な損害賠償額が支払えないといった状況になることも考えられます。事故当事者が賠償金を支払えず自己破産に陥るだけでなく、被害者側も補償を受けることができないといったことにもなります。

北海道は、平成 30 年に北海道自転車条例を制定し、自転車貸付業者・自転車を事業の用に供する事業者は、自転車損害賠償等の加入が義務化されました。また、自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入促進についても明記されています。

富良野美瑛地域でも、万が一の事態に備え自転車利用者が安全・安心に自転車を楽しめるよう、イベントや安全教育等で自転車損害賠償保険等への加入促進に向けた啓発活動に努めます。

主な取り組み内容	想定される実施者
自転車販売店やサイクリングイベントにおいて、自転車損害賠償保険を紹介し、加入を促進	観光協会、自転車事業者、イベント事業者、6 市町村

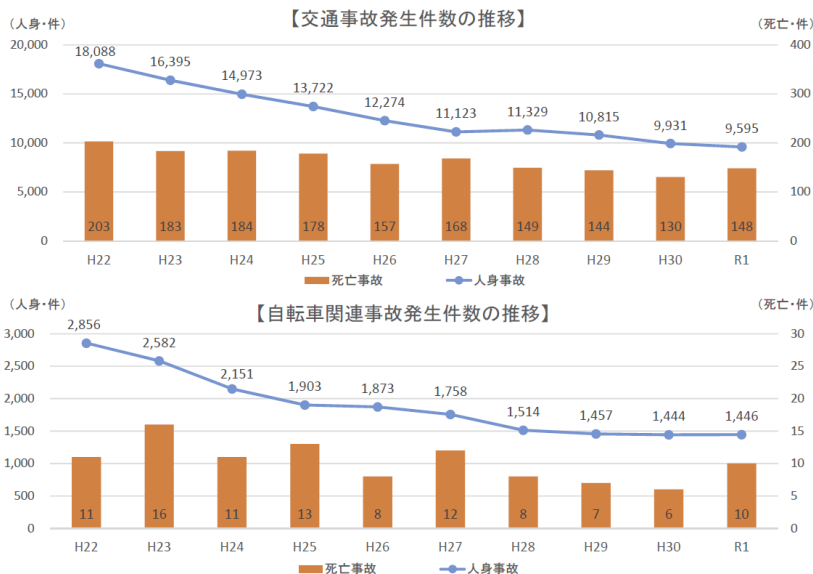


図 39 道内の交通事故発生状況

出典：自転車関連事故等の分析（北海道警察）

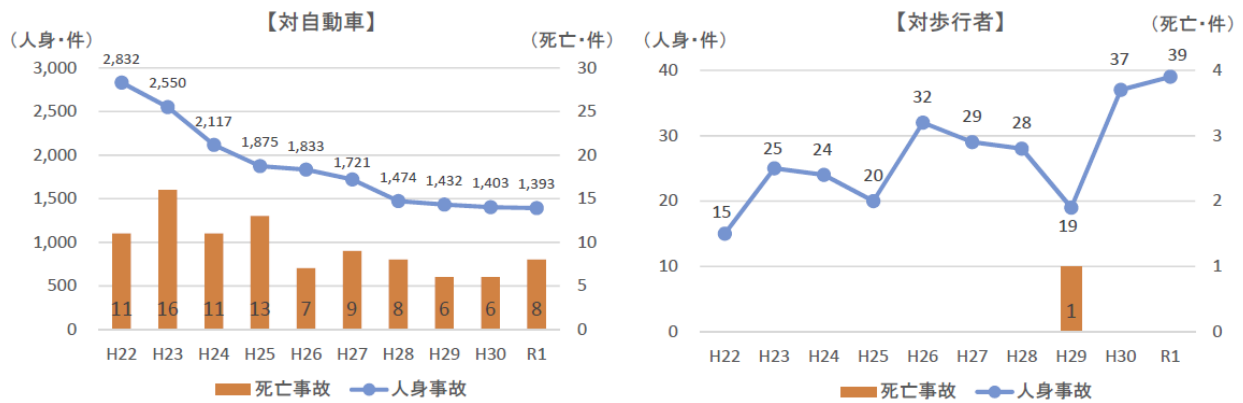


図 40 対自動車・対歩行者の自転車事故件数

出典：自転車関連事故等の分析（北海道警察）

自転車利用者の皆様へのお願いです

自転車はルールを守り 安全に利用しましょう！

自転車の側面に反射器を装着するとともに、必要な点検及び整備を行いましょう。

自転車を利用する基本です。

乗車用ヘルメットを着用しましょう。

あなたの命を守ります。

北海道では、自転車利用者・歩行者の安全確保を図りながら、自転車の持つメリットを生かし、環境負荷の低減や災害時の交通機能の維持、さらには国民の皆さんの健康増進などを旨として「北海道自転車道法」(平成30年4月1日)が施行されました。

未だでは、自転車の安全な利用のため、乗車用ヘルメットの着用や、自転車の側面の反射器の装着のほか、万が一の事故に備え、自転車損害賠償保険等への加入について推奨しています。

他人にケガや損害を与えた時に補償する
自転車損害賠償保険等に加入しましょう。

※自転車保険や火災保険などの枠で自転車事故の補償が付帯されている場合があります。北海道のHPで確認することができます。

万が一に備えます。

お問い合わせ：北海道環境生活部くらし安全局道民生活課
TEL:011-204-5219

あなたは、補償できますか？

損害賠償額 505万円
傘をさしながら走行中にT字路で自転車と出会い頭に衝突し、相手方の左大腿部を骨折させた。

損害賠償額 9,266万円
車道を斜め横断し、対向車線を直進してきた男性会社員の自転車と衝突。男性に言語機能等の重大な障害が残った。

損害賠償額 9,521万円
夜間、帰宅途中に自転車で走行中、歩道と車道の区別のない道路において歩行中の女性と正面衝突。女性は無意識な状態。

損害賠償額 6,008万円
通学中、歩行者に衝突。被害者には、背髄(せきずい)損傷による麻痺の後遺障害が残る。

損害賠償額 685万円
帰宅途中、植木の剪定(せんてい)をしていた作業員の脚立に接触、転倒させ、死亡。

**自転車の事故で
高額な損害賠償を
求められる事例が
発生しています！**

損害賠償額 2,650万円
帰宅途中、無灯火で歩行者に気付かず衝突、死亡。

損害賠償額 4,043万円
赤信号で交差点の横断歩道を走行中、男性旋盤工のオートバイと衝突。男性は頭蓋内損傷で13日後に死亡。

損害賠償額 5,000万円
無灯火の上、携帯電話を操作しながら片手運転し、看護婦女性に追突。被害者女性には、手足に痺れが残る歩行困難になった。

損害賠償額 2,650万円
道路の右側を走行中に対向してきた主婦の自転車と接触し、主婦は転倒、後日死亡。

損害賠償額 3,138万円
歩道から交差点に無理に進入し、女性保険勧誘員の自転車と衝突。女性には頭蓋骨折を負い、9日後に死亡。

**自転車事故をあまく考えてはいけません
逃げたらひき逃げ 重大犯罪**

図 41 自転車の安全利用チラシ

出典：北海道環境生活部くらし安全局道民生活課

6. 計画推進

6-1 計画の推進体制

本計画を推進していくにあたっては、「富良野美瑛ルート協議会」が主体となって地域全体の自転車利用環境整備の方向性や取り組みについて協議・調整を行います。具体的な取り組みは、協議会メンバーである各自治体が主体となり、地域のサイクリング事業者や交通事業者、観光団体等と協力しながら推進を図ります。

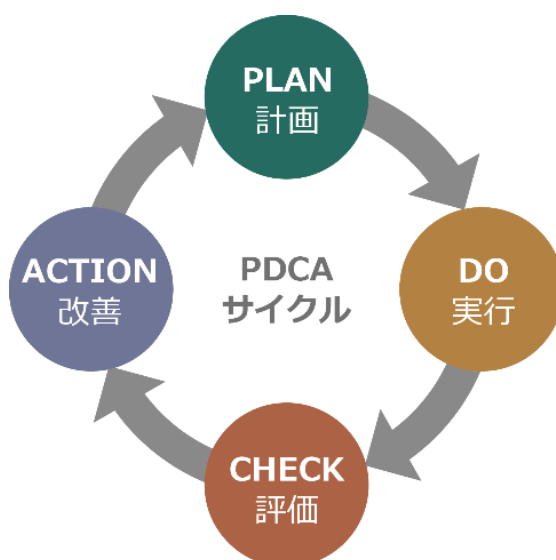
また、富良野美瑛サイクリングルートは6市町村に跨り、国道・道道・市町村道を利用しているため、国、北海道、各自治体の関連部署と情報共有を行いながら、相互に連携を図り、取り組みを推進します。

協議会メンバーだけでは解決が難しい課題が発生した場合には、有識者に意見を伺うなど外部とも協力しながら自転車利用環境の改善に努めます。

6-2 計画のフォローアップと見直し

計画の進行管理はPDCAサイクルに従って実施します。各取り組みの進捗状況については毎年度フォローアップを行い、設定した指標を用いて達成状況を評価します。

取り組み状況や社会情勢を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。



6-3 計画の達成度評価

PDCA サイクルにより取り組みの改善を図るためには、各目標の達成状況（アウトプット）や取り組みによる効果（アウトカム）が必要です。

本計画に示した取り組みの達成状況や効果を評価するための指標と令和8年度における目標値を以下の通り設定します。

（1）サイクルツーリズムの促進に向けた、自転車走行・受入環境の整備

評価項目	評価指標	現状値	目標値
達成状況 (アウトプット)	地方版自転車活用推進計画の策定自治体数	0	6 (6市町村全て)
	自転車ネットワーク計画の策定自治体数	0	6 (6市町村全て)
効果 (アウトカム)	富良野美瑛ルート走行満足度 (アンケート調査)	—	80%以上

（2）日常利用からサイクリングまで誰もが利用しやすい環境の整備

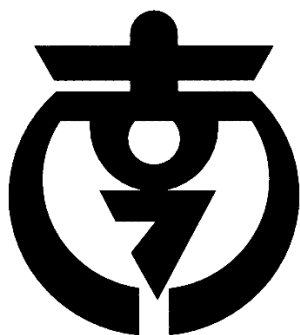
評価項目	評価指標	現状値	目標値
達成状況 (アウトプット)	通勤や短距離移動における自転車利用促進の啓発活動	—	6回/年以上 (6市町村各1回)
効果 (アウトカム)	日常的な自転車の利用割合 (アンケート調査)	(通勤・通学の平均自転車利用率：合計約40%)	50%以上

（3）富良野美瑛サイクリングルートの世界標準化

評価項目	評価指標	現状値	目標値
達成状況 (アウトプット)	ナショナルサイクルルート登録	—	登録
効果 (アウトカム)	国内外へのルートPRイベントの実施回数	—	2回/年以上
	6市町村合計の外国人観光客数 ※宿泊客延数	22.1万人/年 (R元年5-10月)	24.0万人/年 (約1割増)

（4）自転車事故のない安全で安心な社会の実現

評価項目	評価指標	現状値	目標値
達成状況 (アウトプット)	交通安全に関する啓発活動	—	全サイクリングイベントで実施
効果 (アウトカム)	6市町村内での自転車死傷事故件数	5件/年 (R2年)	0件/年



富良野美瑛地域自転車活用推進計画

令和4年2月

(美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村)